

平成
23
年度
長浜市文化財保護年報

平成23年度

長浜市文化財保護年報

2
0
1
2
・
8

滋賀県長浜市教育委員会

2012.8

滋賀県長浜市教育委員会

平成 23 年度

長浜市文化財保護年報

2012.8

滋賀県長浜市教育委員会



はじめに



文化財保護シンボルマーク

風光明媚なまちである長浜市は、滋賀県の北部に位置し、琵琶湖を囲むように持つ。琵琶湖には名勝史跡の竹生島が浮かび、東には県下最高峰の伊吹山を望むことができます。

長浜市内には国、県、市の指定文化財が 438 件、埋蔵文化財の包蔵地は 830 件を数え滋賀県内でも多くの文化財を有しています。これらの背景には、長浜が古より東海や北陸など各地域を結ぶ交通の要衝として栄え、様々な人々の往来とともに文化に花を咲かせていたことからきています。



長浜市の位置

このたび刊行する「平成 23 年度長浜市文化財保護年報」は、平成 23 年度に長浜市が文化財に関しておこなった事業を掲載しています。内容は、文化財保護を目的に実施した指定、調査、管理等の事業や埋蔵文化財の調査、保護普及のために実施している事業をまとめたものです。

これらの事業の成果を公表することによって、文化財保護センターがおこなっている業務内容を知り、ご理解いただくとともに、今後の文化財活用の一助になることを願います。

平成 24 年8月

長浜市教育委員会

教育長 北川 貢造

例 言

1. 本書は、平成 23 年度に長浜市教育委員会 教育総務課 文化財保護センターが実施した、文化財に関する事業報告を目的とした「年報」である。

2. 本事業の事務局は次のとおりである

平成 23 年度

長浜市教育委員会	教 育 長	伊藤 宏太郎
	教育部長	江畑 平夫
教 育 総 務 課	課 長	江畑 仁資
文化財保護センター	所 長	森口 訓男
保存管理グループ	副 参 事	山崎 清和
	主 幹	尾崎 好則、二宮 義信、秀平 文忠
	臨時職員	布生 倫子
埋蔵文化財グループ	副 参 事	黒坂 秀樹
	主 幹	山本 孝行、池寄 陽一
	主 査	牛谷 好伸、沢村 治郎
	臨時職員	百々 正志

平成 24 年度

長浜市教育委員会	教 育 長	北川 貢造
	教育部長	中井 正彦
	兼教育総務課長	
文化財保護センター	所 長	森口 訓男
保存管理グループ	副 参 事	山崎 清和
	主 幹	伊藤 潔、二宮 義信、秀平 文忠
	臨時職員	布生 倫子、小林 力
埋蔵文化財グループ	副 参 事	黒坂 秀樹
	主 幹	尾崎 好則、池寄 陽一
	主 査	牛谷 好伸、沢村 治郎
	臨時職員	百々 正志

3. 本書の執筆は各担当が行い、編集は牛谷が行った。

目 次

第1章 文化財保護関連事業

第1節 新指定文化財	1
1 建造物	1
登録有形文化財 ふじ石亭主屋・蔵・客間棟	1
2 美術工芸品	2
重要文化財／木造千手観音立像（千手院蔵）	2
第2節 長浜市文化財保護審議会	3
第3節 文化財調査	4
1 美術工芸品	4
1-1 仏画類（鷄足寺蔵）	4
1-2 鰐口・銅鏡（須賀神社蔵）	5
1-3 重要文化財／木造伝千手観音立像（黒田観音寺蔵）	6
1-4 木造聖観音坐像、木造僧形坐像（源昌寺蔵）	7
2 民俗文化財	8
2-1 県指定有形民俗文化財／高砂山見送幕飾房蛍光X線調査	8
2-2 県指定有形民俗文化財／長浜曳山祭の曳山 車輪材種同定調査	8
第4節 文化的景観保存活用事業	9
1 菅浦の文化的景観	9
2 文化的景観保存活用事業	9
3 今後の予定	10
第5節 指定文化財等保存修理	11
1 建造物	11
1-1 国宝 都久夫須麻神社本殿保存修理	11
1-2 県指定有形文化財 日吉神社本殿保存修理	11
1-3 県指定有形文化財 全長寺本堂保存修理	11
1-4 市指定有形文化財 大通寺台所門保存修理	12
2 民俗文化財	12
2-1 重要無形民俗文化財／長浜曳山祭の曳山行事 高砂山懸装品修理	12
2-2 県指定有形民俗文化財／長浜曳山祭の山車 附山蔵 孔雀山山蔵修理	13
2-3 県指定有形民俗文化財／長浜曳山祭の山車 附山蔵 常磐山山蔵修理	13
2-4 県指定有形民俗文化財／長浜曳山祭の山車 附山蔵 青海山山車修理	13
2-5 県選択無形民俗文化財／冨田人形保存修理	14
3 美術工芸品	14
3-1 市指定有形文化財 金地墨画梅の図襖保存修理	14
4 名勝・史跡	15
4-1 国指定名勝・史跡 竹生島 都久夫須麻神社拝殿保存修理	15
4-2 国指定名勝 大通寺含山軒および蘭亭庭園仕切り塀修理	16
4-3 国指定名勝 慶雲館庭園保存整備	16
第6節 指定文化財管理事業	17
1 国指定	17
1-1 大通寺	17
1-2 都久夫須麻神社	17
1-3 宝厳寺	17
1-4 五村別院	17
1-5 西徳寺	17
1-6 辻家住宅	17
1-7 日吉神社（唐川）	17
2 県指定	17
2-1 総持寺	17
2-2 池氏庭園	17
2-3 日吉神社（井口）	17
2-4 全長寺	18
2-5 上丹生薬師堂	18
2-6 塩津神社	18
3 市指定	18
3-1 大通寺学問所庭園	18
3-2 東野山城跡	18

3-3 別所山砦跡	18
第7節 史跡の現状変更申請	19
第8節 指定文化財保存伝承事業	19
1 国指定重要無形民俗文化財/長浜曳山祭行事保存伝承（保護団体：財団法人長浜曳山文化協会）	19
2 滋賀県選択無形民俗文化財/富田人形保存伝承（保護団体：富田人形共遊団）	19
3 長浜市指定無形民俗文化財/速水伊豆神社八朔大祭保存伝承（保護団体：湖北町速水区）	19
4 滋賀県選択無形民俗文化財/下余呉の太鼓踊り保存伝承（保護団体：下余呉子供会）	19
第9節 特別天然記念物・天然記念物	20
第10節 里山と文化財が織り成す地域資産再生事業	21
第11節 長浜市内所在指定文化財数表	22

第2章 埋蔵文化財関連事業

第1節 長浜市の埋蔵文化財事業件数の推移	23
第2節 埋蔵文化財調査事業一覧	24
1 平成23年度調査地一覧	24
2 補助事業	27
2-1 本発掘調査	30
2-2 測量調査	31
2-3 試掘調査	32
3 公共事業	40
3-1 本発掘調査	41
4 受託事業	41
4-1 本発掘調査	42
5 整理調査	42

第3章 文化財保護普及事業

第1節 先人顕彰事業	43
第2節 文化財防火デー	43
1 防火訓練	43
2 防火査察	43
第3節 文化財講演会・教室	45
1 文化財教室ほか	45
2 文化財講演会	45
第4節 出張講座（出前講座）	46
第5節 埋蔵文化財展示事業	48
第6節 見学会	48
1 大通寺台所門 保存修理現場見学会	48
2 大通寺台所門 完成見学会	48
第7節 記者発表	49
第8節 刊行図書一覧	49
第9節 収蔵文化財の活用	49
1 閲覧	49
2 貸出	50
3 掲載	51
第10節 文化財保護普及啓発ポスター	52
第11節 子ども考古学教室「土器・まがたまづくりにチャレンジ！！」	52
第12節 家族甲冑教室	53
第13節 広報ながはま ながはまの文化財掲載	54

第1章 文化財保護関連事業

第1節 新指定文化財

1 建造物

登録有形文化財 ふじ石亭主屋・蔵・客間棟 3件

登録年月日 平成24年2月23日

①ふじ石亭主屋

建築年代 明治17年頃／平成17年改修

木造2階建、瓦葺、建築面積123㎡

②ふじ石亭蔵

建築年代 明治17年頃／平成17年改修

土蔵造2階建、瓦葺、建築面積23㎡

③ふじ石亭客間棟

建築年代 明治17年頃／平成17年改修

木造平屋建、瓦葺、建築面積115㎡



ふじ石亭主屋全景

ふじ石亭は、もとは長浜の実業家である下郷久道氏が明治17～18年に別荘として建築したもので、その後、昭和17年にヤンマーの社主である山岡氏が購入、さらに平成17年に光亜興産株式会社が購入し、ふじ石亭と名付け、現在は料亭として活用されている。

主屋は、道路に面した入母屋造妻入の正面外観がほぼ当初のまま残り、切妻造平入が一般的な近世の町家に対し、近代の町家の新たな形式を示すものとして価値がある。内部も座敷廻りが良く残され、良質な室内空間が保持されている。

蔵は、主屋から続く通り土間に面して建てられ、内部に若干の改造があるが、当初形式が良く残されている。一部に江戸時代の材料が再利用され、土壁漆喰仕上げの伝統的な土蔵の形式を伝える建築として価値がある。

客間棟は、玄関・茶室・広間で構成されている。いずれも数寄屋を基調とし、材料・意匠を凝らした気品ある優れた建築である。

なお、ふじ石亭は、上記3件の建造物の個々の価値とともに、当初に別荘として建築された一連の建物が、群として今日まで良好に残されている点についても評価することができる。



ふじ石亭蔵全景



ふじ石亭客間全景

2 美術工芸品

重要文化財／木造千手観音立像（千手院蔵） 1 軀

指定年月日 平成 23 年 6 月 27 日

種 別 彫刻

名称・員数 木造千手観音立像 1 軀 平安時代

本体像高 181.8 センチメートル

時 代 平安時代

所 有 者 千手院

所 在 地 長浜地川道町 452

説 明

十一面四十二臂の千手観音像。針葉樹材、一木造の等身像で、体部背面より内割りして上下 2 段の背板をあて、脇手は別材を矧ぐ。顎の短い顔立ちで、目に鉦物性の瞳を嵌入する点、耳を覆いながら鬢髪が渦巻く点、裾の左右の裾を後方に引く点などに、奈良・法華寺十一面観音像（国宝）との共通性が指摘できる。裾には翻波式衣文を表し、それが不連続かつ自由に配置されて変化を見せ、流麗で鋭角的な彫り口を示している。

本像は、千手院秘仏本尊の木造千手観音立像（重要文化財）を納める厨子の右に設けられたもう一つの厨子内に伝来し、寺では本尊の「御代仏」（身代わりの仏）とする。本像と本尊の関係については、千手院の寺伝である『泰平寺観音縁起』（寛文 6 年・1665）に詳しい。同縁起によると、千手院の本尊は、寺近くの淵の水底より救い上げた千手観音像で、院内の堂に安置された。ところが寺僧の夢に、もし本尊を探し尋ねて来る人がいれば、淵中にある同木の材を用いて像を造り渡し、本尊は末代まで当地に安置するようにとのお告げがあった。夢告に従って淵の中より材を引き上げ、本尊と同じ大きさの像を造り、堂内に安置して現在に至るも、尋ねて来る人はいないという。

本像と様式を同じくする像は、湖北地方を中心に見いだされ、千手院本尊像のほかに長浜市・黒田観音寺伝千手観音像、長浜市・日吉神社千手観音像、長浜市・来現寺聖観音像（以上、重要文化財）等があげられる。着衣にみられる衣文の構成や彫り口の鋭さなど、9 世紀の制作とされる京都・広隆寺千手観音像（国宝）や前述の黒田観音寺伝千手観音像との共通性が顕著であることから、本像の制作時期も 9 世紀とみられる。

湖北地方の平安前期彫刻の作風を如実に示す優品として貴重である。



千手観音立像（正面）



千手観音立像（上半身）

第2節 長浜市文化財保護審議会

長浜市文化財保護審議会は、長浜市文化財保護条例第 61 条第 1 項に「第 1 条の目的達成のため、法第 190 条の規定に基づき教育委員会の附属機関として、長浜市文化財保護審議会（以下「審議会」という。）を置く。」とされその所掌事務について同条第 2 項に「審議会は、教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する重要な事項について、調査審議し、並びにこれらの事項に関して教育委員会に建議する。」としている。

1. 長浜市文化財保護審議会委員名簿

部門（専門）	氏 名	備考
民俗（歴史・仏教民俗）	中澤 成晃	元滋賀県文化財保護審議会委員
美術工芸品（古美術全般）	石丸 正運	元彦根城博物館館長
建造物（古建築）	吉見 静子	岐阜女子大学名誉教授
民俗（民俗芸能）	山田 和人	同志社大学教授
書籍（古文書）	宇野日出生	京都市歴史資料館統括研究員
美術工芸品（宗教美術）	井上 一稔	同志社大学教授
史跡（古代）	増渕 徹	京都橘大学教授

2. 第 1 回文化財保護審議会

○開催日時 平成 23 年 9 月 15 日（木）午後 2 時 45 分から

○開催場所 菅浦自治会館

○内容

（1）本年度事業計画について

・保護・普及事業・保存修理・伝承・管理事業・埋蔵文化財について

（2）市内未指定文化財指定候補について

・視察 鰐口 4 口 菅浦郷土史料館 ・審議 鰐口 4 口 菅浦自治会館

（3）長浜市歴史的風致維持向上計画について

3. 第 2 回長浜市文化財保護審議会

○開催日時 平成 24 年 3 月 13 日（火）午後 2 時 00 分から

○開催場所 長浜城歴史博物館研修室

○内容

（1）平成 23 年度事業報告

・保護・普及事業・保存修理・伝承・管理事業・埋蔵文化財について

（2）長浜市市指定文化財の指定に係る諮問について

長浜市文化財保護条例第 61 条第 2 項により長浜市市指定文化財の指定に係る諮問のあった下記の文化財について、調査審議のうえ教育委員会に建議いただいた。

種 別	名 称	員数	時 代	所有者	所在地	備考
彫 刻	木造聖観音坐像	1 軀	鎌倉時代	源昌寺	余呉町上丹生	
彫 刻	木造僧形坐像	1 軀	鎌倉時代	源昌寺	余呉町上丹生	
工芸品	鰐口 (正応三年銘)	1 口	鎌倉時代 (正応 3 年・1290)	須賀神社	西浅井町菅浦	
工芸品	鰐口 (正応五年銘)	1 口	鎌倉時代 (正応 5 年・1292)	須賀神社	西浅井町菅浦	
工芸品	鰐口 (応永庚寅銘)	1 口	室町時代 (応永 17 年・1410)	須賀神社	西浅井町菅浦	
工芸品	銅鏡 (嘉禎三年銘)	1 面	鎌倉時代 (嘉禎 3 年・1237)	須賀神社	西浅井町菅浦	

第3節 文化財調査

1 美術工芸品

1-1 仏画類（鶏足寺蔵）

鶏足寺からの依頼により、滋賀県教育委員会文化財保護課の協力のもと仏画 74 件について調査・撮影。

①五大明王像 1 幅

絹本着色、縦 94.9cm、横 40.5cm、長浜市指定文化財。不動明王と中心に置き、その周囲に降三世明王、軍荼利明王、大威徳明王、金剛夜叉明王の五大明王を描く。明王の肉身を象る墨線、着衣や火焰に用いられる彩色は緻密で、室町時代の前期にさかのぼる優品である。

②不動明王二童子像（A本） 1 幅

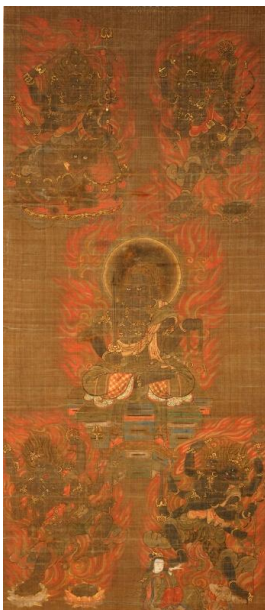
絹本着色、縦 93.0cm、横 38.4cm、長浜市指定文化財。海中の岩上に立つ不動明王と制吒迦・矜羯羅の二童子を描く。的確な描法や金泥を効果的に用いた賦彩、写実性に富む火焰光、岩や水に見られる写実的な描写に、鎌倉時代の特色がみられる。本図は形式化がみられるため、制作時期は南北朝時代に下ると考えられる。

③釈迦十六善神像 1 幅

絹本着色、縦 120.7cm、横 54.1cm。釈迦如来と十六善神を描いたあらわした図で、寺院などで「大般若経」転読がおこなわれる際、本尊として掛けられる。表現技法から室町時代にさかのぼると考えられる。

④三十番神像 1 幅

絹本着色、縦 86.3cm、横 38.3cm。1 か月の 30 日を日替わりで守護する神々を描く。天台法華宗の教義から考案されたと考えられ、日蓮宗の寺院に多く安置された。本図は室町時代後期の天文 25 年(1552)の落款を有し、近世以降の作例が多数を占める三十番神の画像としては比較的古い時代の作例で、きわめて貴重である。



五大明王像



不動明王二童子像



釈迦十六善神像



三十番神像

⑤ 仏涅槃図（A本） 1 幅

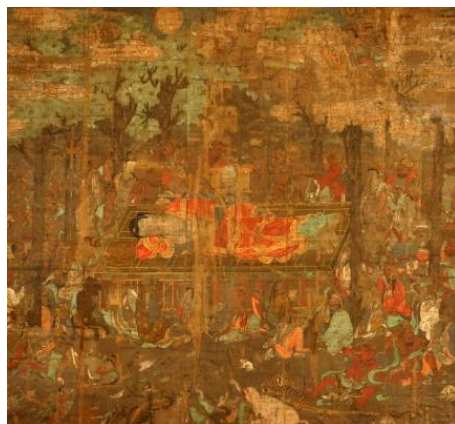
絹本着色、縦 234.8cm、横 243.7cm。「大般涅槃經」が説く釈迦入滅の場面を描く。クシナガラ郊外、跋提河ほとりの沙羅双樹の下、釈迦が右脇を下に横臥し、周囲に諸菩薩や仏弟子、俗人、動物などが参集する。参集する人物や動物の数が多く、涅槃図では「新式」の図像に分類される。本図は室町時代後期の大作である。

⑥ 仏涅槃図（B本） 1 幅

絹本着色、縦 169.3cm、横 186.3cm。入滅する釈迦と参集する菩薩や仏弟子、俗人、鳥獣などを描いた仏涅槃図。横長の画面は涅槃図としては古式に属する。仏菩薩の容貌が俗化していることや、参集する人物や鳥獣の数が多きことなどは、時代の降下を示しているが、謹厳な筆戦や、質のよい顔料を用いた鮮やかな彩色は、本図が中世に描かれたことを物語る。制作時期は、室町時代前期、15 世紀までさかのぼり、涅槃図の優品として貴重である。



仏涅槃図（A本）



仏涅槃図（B本）

1－2 鰐口・銅鏡（須賀神社蔵）

文化的景観の美術工芸品調査も兼ねて、長浜市指定文化財指定候補として滋賀県梵音具調査団、井上一稔委員（市文化財保護審議会）とともに調査・撮影。

① 鰐口 1 口（正応三年銘）

鼓面径 19.6cm、総厚 7.9cm、肩厚 5.1cm、撞座径 5.2cm（撞座区内径）、目の張出 0.6cm、唇の張出 0.6cm、口の開き 0.7cm。鋳銅製。片面外区に「栗田重貞 正應三年九月廿二日」陽鑄銘がある。鎌倉時代（正応3年・1290）の作。



鰐口（正応三年銘）

② 鰐口 1 口（正応五年銘）

鋳銅製。鼓面径 22.8cm、総厚 8.5cm、肩厚 5.1cm、撞座径 5.9cm（撞座区内径）、耳高 2.2cm、耳幅 3.5cm、目の張出 0.8cm、唇の張出 0.8cm、口の開き 0.9cm。片面外区に「正應五年壬辰貳月十一日／栗田重弘爲父母敬白」の陰刻銘がある。鎌倉時代（正応5年・1292）の作。



鰐口（正応五年銘）

③鰐口 1口（応永庚寅銘）

鑄銅製。鼓面径 22.4cm、総厚 11.4cm、肩厚 6.4cm、撞座径 3.6cm、耳高 2.5cm、耳幅 4.6cm、目の張出 0.9cm、唇の張出 0.9cm、口の開き 0.8cm。片面外区に「施入江州浅井郡菅浦大明神鰐口事／時應永庚寅十月吉日願主妙印敬白」の陰刻銘がある。室町時代（応永 17 年・1410）の作。



鰐口（応永庚寅銘）

④鰐口 1口

鑄銅製。鼓面径 17.4cm、総厚 7.4cm、肩厚 4.8cm、撞座径 4.6cm、耳高 2.6cm、耳幅 4.7cm、目の張出 1.8cm、唇の張出 1.1cm、口の開き 1.2cm。片面の外区に「奉掛御宝前」「京大仏住西村左近宗春作」「近州菅浦村根津藤兵衛」の陰刻銘がある。江戸時代の作。



鰐口（江戸時代）

⑤銅鏡 1面（嘉禎三年銘）

鑄銅製。径 22.4cm、厚（縁）0.3cm、厚（内区）0.2cm。背面に「嘉禎三年丁酉六月十五日／執行阿闍梨大法師定智」の墨書銘がある。鎌倉時代（嘉禎 3 年・1237）の作。



銅鏡（嘉禎三年銘）

1－3 重要文化財／木造伝千手観音立像（黒田観音寺蔵）

重要文化財の確認調査として、文化庁、滋賀県美術工芸品実体調査団、井上一稔委員（市文化財保護審議会）とともに調査・撮影。

木造、素地、彫眼、重要文化財。像高 199.2cm、髪際高 166.7cm、髪際張 25.5cm、頂一顎 50.6cm、面長 19.6cm、面幅 18.7cm、耳張 23.6cm、面奥 25.7cm、胸奥（右）29.1cm、胸奥（左）29.8cm、腹奥 32.8cm、肘張（真手）57.5cm、脇手最大張 125.3cm（左手卷子手～右手火焰宝珠手）、裾張 50.3cm、足先開（外）26.4cm。

針葉樹材製。頭体幹部は 1 材より彫出する。木芯は後方に外し、内剝を施して背板を当てる。髻、両足先は別材製で、18 臂の腕はすべて肩以下より矧ぎ付ける。

寺伝では千手観音だが、真手・脇手を左右各 9 臂とし、都合 18 手を表すため准胝観音との説もある。平安時代前期（9 世紀）の作。



木造伝千手観音立像

1－4 木造聖観音坐像、木造僧形坐像（源昌寺蔵）

長浜市指定文化財指定候補として、調査・撮影。

①木造聖観音坐像 1 軀

木造、古色、彫眼。像高 37.5cm、髪際高 31.0cm、頂一顎 13.2cm、面長 6.7cm、面幅 6.5cm、耳張 8.8cm、面奥 8.1cm、胸奥（左）8.0cm、腹奥 9.0cm、肘張 18.3cm、膝張 26.2cm、膝奥 17.8cm、膝高（右）5.5cm、膝高（左）5.4cm。

垂髻を結び、現状左手に未敷蓮華を執る聖観音坐像。頭体幹部はヒノキ材による一木造で、両肘以下と脚部材を別材製とする。木芯は像後方に外す。内刳なし。鎌倉時代の作。

本像については、堂内に安置される建保 3 年（1215）の本尊・木造薬師如来立像（重要文化財）や、近隣の洞寿院観音堂（菅並）にある建保 4 年（1216）の木造観音菩薩立像（重要文化財）との作風上の近似性が注目される。



木造聖観音坐像

②木造僧形坐像 1 軀

木造、古色、彫眼。像高 43.3cm、頂一顎 16.2cm、面幅 10.3cm、耳張 12.0cm、面奥 13.4cm、胸奥（中央）11.3cm、腹奥 10.2cm、肘張 22.2cm、袖張 21.5cm、膝張 31.6cm、膝奥 21.4cm、膝高（右）5.7cm、膝高（左）6.0cm。

剃髪相の僧形像。尊名不詳。喉筋と肋骨を表し、僧綱襟を立てた衲衣を着け、吊紐で袈裟を懸ける。両腕は屈臂して、胸前で拱手して数珠をまさぐる。右脚を上にして結跏趺坐する。両手先・持物まで含んでヒノキ材による一木造で、脚部材は別材製。木芯は像後方やや右寄りに外す。内刳なし。鎌倉時代の作。

本像は寺伝では地藏菩薩坐像とされる。ただし、老相で肋骨を表すこと、持物が地藏菩薩に一般的な宝珠や錫杖ではなく、数珠を両手でまさぐることから、尊名の特定には検討を要する。可能性としては、僧形文殊像、僧形神像、老僧の肖像などが考えられる。



木造僧形坐像

2 民俗文化財

2-1 県指定有形民俗文化財／高砂山見送幕飾房蛍光X線調査

高砂山見送幕飾房復元新調にかかる修理委員会の指導により、飾房留金具と風鎮の成分分析について奈良大学（西山要一教授）の協力のもと再調査を実施した。その結果、飾房（小）の留金具は銅・亜鉛・ニッケルの合金であり、ところどころから銀が検出される一方で、水銀は検出されなかった。ガラス製風鎮は、二酸化ケイ素に酸化鉛を添加した鉛ガラスであることを確認した。これらの情報は、見送幕飾房復元新調の参考となった。



高砂山見送幕飾房蛍光X線調査

2-2 県指定有形民俗文化財／長浜曳山祭の曳山 車輪材種同定調査

曳山車輪新調にかかる材料調達・選定の基礎資料とするため、長浜曳山祭行事・曳山保存専門委員会の指導により、全曳山の木製車輪について材種同定調査を実施した。車輪1輪につき木片を数片採取し、奈良教育大学（金原正明教授）の協力のもと、生物顕微鏡での観察による樹種鑑定を行った。調査は現行の車輪に加えて、山組で保存している使用済みの旧車輪についても実施した。その結果、長浜の曳山の車輪にはカバノキ属（ミズメ）、トチノキ、コナラ属コナラ節、カエデ属が用いられていることが判明した。



諫鼓山車輪調査

第4節 文化的景観保存活用事業

文化的景観とは「地域における人々の生活又は生業及び当地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のために欠くことのできないもの」（文化財保護法第2条第1項第5号）をいう。

特に重要なもので保護措置が講じられているものについては、都道府県又は市町村の申し出に基づき重要文化的景観に選定される。（文化財保護法第134条第1項）

長浜市では、「長浜市景観まちづくり計画」（平成20年策定・平成23年変更）で奥琵琶湖一帯の区域を、長浜市の文化的景観を有する区域としている。

文化財保護センターでは、奥琵琶湖一帯の文化的景観の保存・活用を検討している。

平成23年度より、長浜市西浅井町菅浦地域の文化的景観の保存・活用について専門家と地元菅浦自治会の代表から構成する長浜市文化的景観保存活用委員会を設置し、菅浦の文化的景観保存活用事業に取り組んでいる。

1 菅浦の文化的景観

菅浦は、万葉集に「高島の阿波の水門を漕ぎ過ぎて塩津菅浦今か漕ぐらむ」と詠まれた古くから湖上交通の重要な湊であった。

菅浦は、平安時代到大浦荘から自立し、以後日指・諸川の田畠の領有をめぐる大浦との争いや村落の滅亡の危機、浅井氏による支配、江戸時代の膳所藩支配や代官との対立、葛籠尾山の領有をめぐる延勝寺村との山論など、幾多の困難を乗り越えてきた。菅浦の人々は村落の成立以来、誇り高い自立の精神を受け継ぎ今に伝えている。

こうした永い歴史的な風土と人々の生活やなりわいによって培われ、菅浦はその形を変えつつも独特の風景を造り出している。

2 文化的景観保存活用事業

（1）長浜市文化的景観保存活用委員会の開催

3回の委員会を開催した。重要文化的景観選定基準、スケジュール、調査及び保存活用計画、啓発事業の推進、事業期間等を検討した。

第1回委員会 開催日 平成23年7月3日（日）

第2回委員会 開催日 平成23年9月26日（日）

第3回委員会 開催日 平成24年3月11日（日）



菅浦集落遠景



四足門

（２）調査

第１回の委員会の指導により７月～９月に予備調査を実施しその結果を受け第２回委員会で方針を決定し、１０月より自然的特性、歴史的特性、生活・生業上の特性などの観点から文化的景観の価値を明らかにする調査を行った。

調査は各分野の専門の委員、地元委員により現地調査、聞き取り調査、集落内の古文書調査、地籍図、古図、文献等の収集を行った。

また、事務局で実施した美術工芸品調査により確認された正応３年（１２９０）９月２２日の銘のある鰐口などの調査結果について報告した。



菅浦の春まつり

（３）啓発事業

重要文化的景観の選定は地域の人々の理解と協力が大切であるため、資料展や説明会を開催した。

○文化的景観講演会・説明会の開催 日時 平成２４年３月１０日（土）午後７時～

・内容 講演「菅浦での文化的景観の意義」人間文化研究機構 金田章裕 機構長 他

○文化的景観啓発資料展の開催

・第１回写真展「菅浦の思い出 今・昔写真展パート①」平成２３年１１月１９日～２５日

・第２回写真展「菅浦の思い出 今・昔写真展パート②」平成２４年３月３１日～４月８日

３ 今後の予定

平成２４年度も引き続き調査を実施するとともに、保存活用についての検討を行い、平成２５年度中に「重要文化的景観」の申出を行う予定である。

長浜市文化的景観保存活用委員会

	氏 名	所 属	職	分 野
委員長	金田 章裕	人間文化研究機構	機構長	歴史地理
委員	南出 眞助	追手門学院大学	学部長	歴史地理
委員	佐野 静代	同志社大学	准教授	歴史地理
委員	吉村 亨	京都学園大学	教授	歴史学(中世)
委員	東 幸代	滋賀県立大学	准教授	歴史学(近世)
委員長職務代理	中島 誠一	(財)長浜曳山文化協会事務局	事務局次長	民俗学
委員	深町 加津枝	京都大学大学院	准教授	生物(植物)
委員	前畑 政善	神戸学院大学	教授	生物(魚類)
委員	日向 進	京都工芸繊維大学	教授	建築学
委員	島田 均	菅浦自治会	会長	菅浦自治会
委員	中嶋 達也	観光代表	代表	菅浦自治会
委員	須原 伸久	菅浦自治会	評議員	菅浦自治会
委員	高橋 郁夫	菅浦自治会	評議員	菅浦自治会
委員	藤井 進	菅浦自治会	評議員	菅浦自治会
委員	加藤 誠	漁業代表(西浅井漁業組合)	菅浦代表	菅浦自治会
委員	浅野 正司	菅浦農業組合	組合長	菅浦自治会
委員	西川 喜善	菅浦郷土資料館	資料館	菅浦自治会
委員	前田 清	菅浦郷土資料館	運営委員	菅浦自治会
事務局	長浜市文化財保護センター			

第5節 指定文化財等保存修理

1 建造物

1-1 国宝 都久夫須麻神社本殿保存修理

都久夫須麻神社本殿（明治32年4月5日、昭和28年7月16日指定）は、入母屋造、檜皮葺の建造物で、永禄10年（1567）に再建され、慶長7年（1602）に移築建物と組み合わせて再建立されている。屋根の檜皮葺は昭和46年に葺き替えられてから約40年近くが経過して、平葺部分は耐用年限に達していて、上軒付は部分的に雨水が廻っている状況であった。さらに、平成21年10月8日に来襲した台風18号の影響で、裏山に地滑りが発生して倒木が誘発され、その一部が背面屋根に滑落して屋根面に6箇所、軒廻り2箇所が破損した。これ以外にも経年による外部の彩色彫刻の剥落、内部の蒔絵の劣化、貼り付け壁の亀裂や襖絵の彩色の剥落が甚だしい状況であった。このことから、国庫補助事業によってこれらの修理を行った。主な修理内容としては仮設工事（素屋根等の組立、撤去）、屋根工事（檜皮の葺替、野地補修、箱棟修理）、塗装工事（彫刻彩色、貼付壁彩色の剥落止め）、その他工事（貼付壁の修理等）を行った。

なお事業は平成22年度での完了予定であったが、修理を進める中で、柱や長押に施された蒔絵の保存状態が想定以上に悪いことが判明した。この蒔絵は桃山時代を代表する重要なものであることから、調査研究機関との施工方法についての協議、調整が必要となり、事業期間を平成23年9月30日まで延長し、平成22年度の繰越事業として対応した。



都久夫須麻神社本殿正面全景



都久夫須麻神社本殿内部（正面見返し）

1-2 県指定有形文化財 日吉神社本殿保存修理

日吉神社本殿（平成3年3月30日指定）は、桁行3間・梁間3間の入母屋造、ヨシ葺の建物で、棟札から元文3年（1738）に建築されている。屋根のヨシ葺は全体にヨシの抜け落ちが目立ってきていて、また一部にヨシの腐朽も認められる状況であった。このことから、県補助事業（近江の名宝保存継承事業）によって、屋根全体のヨシの差し葺修理を行った。また、事業を周知するための広報や仮設の説明板を設置し、現場見学会も開催した。



日吉神社本殿全景

1-3 県指定有形文化財 全長寺本堂保存修理

全長寺本堂（昭和62年3月30日指定）は、桁行20.3メートル、梁間16.9メートル、入母屋造、鉄板葺（もとはヨシ葺）、玄関・位牌堂付の建物で、棟札から寛政元年（1789）に建築されている。建物の正面に取り付く玄関の屋根はこけら葺で、経年によって腐朽が甚だしい状況であった。このことから、県補



全長寺本堂 玄関全景

助事業（近江の名宝保存継承事業）によって、玄関の屋根全体の葺き替え修理を行った。また、事業を周知するための広報や仮設の説明板を設置し、現場見学会も開催した。

1-4 市指定有形文化財 大通寺台所門保存修理

台所門（昭和 41 年 12 月 7 日指定）は境内南面の西端に位置する切妻造、本瓦葺の薬医門で、庫裏（寺院の台所）の正面に開かれていることから、この名称で呼ばれている。扉金具銘や山内家文書から天正 16 年（1588）の建築と考えられている。境内南面の中央に山門が建築されるまでは、この門が大通寺の正門であったとされ、山門建築着手時に現在位置に移築されたといわれている。この後、大正 2 年（1913）の礎石寄進銘から、この時に修理が行われている。

建物は経年によって屋根瓦の各所に欠損や緩みが見られ、また不同沈下によって全体が背面側へ倒れかかっている状態であったことから、部材のすべてを取り外して修理を行う解体修理が平成 22 年度から 2 ケ年度継続事業として実施された。

今年度の主な修理内容は、基礎工事（地盤改良・礎石、四半敷等の据え直し）・木工事（新材加工、古材繕い、組立、補強等）・屋根工事（瓦制作、瓦葺）・建具工事（大扉修理）・鋳金具工事（各種金具の修理、新規制作）・その他（防災設備の復旧、附帯工事等）であった。



大通寺台所門 正側面全景



大通寺台所門 組立作業

2 民俗文化財

国庫補助事業 1 件、長浜市文化財保存事業 4 件の 5 件に対して補助を行った。

2-1 国指定重要無形民俗文化財／長浜曳山祭の曳山行事 高砂山懸装品修理

見送幕飾房の復元新調、および舞台御簾の修理を行った。修理は専門業者に委託して実施し、高砂山懸装品修理委員の指導を受けながら、協議のうえ進めた。飾房に付属する鉛ガラス製風鎮および金属製留金具については、蛍光 X 線調査による成分分析のうえ復元した。



見送幕飾房ガラス製風鎮



高砂山見送幕飾房



見送幕飾房留金具



高砂山懸装品修理委員会



高砂山舞台御簾

2-2 県指定有形民俗文化財／長浜曳山祭の山車 附山蔵 孔雀山山蔵修理

平成 22～24 年度の 3 か年で、山蔵壁面の漆喰壁の塗り替え修理を実施している。修理は専門業者に委託して実施し、長浜曳山祭行事・曳山保存専門委員会の指導を受けながら進めている。

今年度の修理は、正面（西面）大扉壁面の漆喰塗り替えを行った。



孔雀山山蔵修理

2-3 県指定有形民俗文化財／長浜曳山祭の山車 附山蔵 常磐山山蔵修理

正面（東面）屋根鉢巻部の漆喰塗り替えを行った。修理は専門業者に委託して実施し、長浜曳山祭行事・曳山保存専門委員会の指導を受けながら進めた。



常磐山山蔵修理

2-4 県指定有形民俗文化財／長浜曳山祭の山車 附山蔵 青海山山車修理

山車の亭屋根頂上部の亭飾り（飛龍）について、矧目の弛んだ脚部を修理し、羽根などの脱落した部材を貼り付けた。修理は専門業者に委託して実施し、長浜曳山祭行事・曳山保存専門委員会の指導を受けながら進めた。



青海山亭飾修理

2-5 県選択無形民俗文化財／富田人形保存修理

富田人形の手足9組、富田人形「清姫」衣裳1領の修理を専門業者に委託して実施した。手足については、汚れ除去、欠損・剥落の補修、引き糸交換のうえ、彩色し直した。衣裳については損傷が甚だしいため新調した。



富田人形衣裳「清姫」



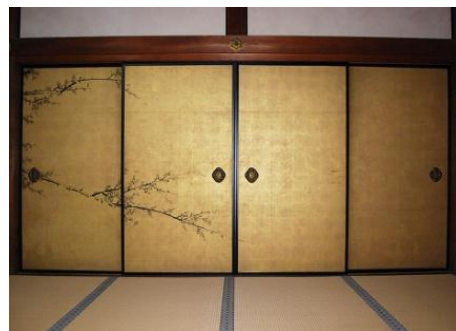
富田人形手足

3 美術工芸品

3-1 市指定有形文化財 金地墨画梅の図襖保存修理

金地墨画梅の図襖12面（昭和37年9月7日指定）は、大通寺新御座（市指定有形文化財）の下段の間と鞘の間を間仕切る襖で、金地に一幹の老梅が墨で描かれている。「天明丙午仲秋岸雅楽助平駒写」と隸書の落款があり、天明6年（1786）岸駒によって制作されたことが分かる。

この襖12面の本紙部分には、経年劣化による亀裂が生じていて、このまま放置できない状態となっていた。このことから3ヶ年度（平成22～24年度）の計画で、本紙ならびに下貼りの修理に着手した。今年度は向かって右の4面（1面の幅911mm×高さ1745mm）の修理を行った。



金地墨画梅の図襖(大通寺) (向う4面)

4 名勝・史跡

4-1 国指定名勝・史跡 竹生島 都久夫須麻神社拝殿保存修理

1. 事業名称 記念物保存修理
2. 文化財の名称 名勝史跡 竹生島（指定年月日 昭和5年7月8日指定）
3. 所在地 滋賀県長浜市早崎町字竹生島
竹生島全島及び諸島周囲の水面 60 間
4. 管理団体 滋賀県（指定年月日 昭和5年12月1日）
5. 事業の目的及び内容 名勝史跡内の歴史的建造物都久夫須麻神社拝殿の保存修理
6. 事業期間 23～25 年度 3 ヶ年(予定)
7. 事業内容

今までに改修工事を実施し維持してきたが、経年の変化により建物内の梁・柱等が歪んでいる状況であり、これを放置すれば崩壊の危険性があるため建物の解体保存修理を3ヶ年計画で実施することになった。

平成23年度は、建造物の調査及び設計を主に歴史的調査や地形測量も実施した。

歴史的調査は拝殿の価値把握及び建立及び修理の経過などの詳細な調査を実施し、現状変更の有無についても調査を行った。

実測調査は地盤、基礎、軸部、軒廻り、小屋組、野地、屋根、雑(壁・建具ほか)、不陸・軸部傾斜など拝殿の破損状況及び使用部材の仕様の調査を行った。

地形測量は拝殿を含む周辺の地形及び構造物を図化する。基本図は100分の1として現況地形及びコンタ図を作成した。

耐震診断調査は拝殿及び周辺の地耐震力調査及び拝殿の構造補強調査を実施した。

当初設計は拝殿の各部の修理方針及び仕様、工期を設計し工事費の積算を行った。



都久夫須麻神社拝殿 船上より



拝殿床下礎石調査



拝殿地盤調査状況

4-2 国指定名勝 大通寺含山軒および蘭亭庭園仕切り塀修理

大通寺含山軒および蘭亭庭園(昭和9年12月28日指定)は、含山軒の東側と蘭亭の南側にそれぞれ設けられ庭園で、江戸時代中期の作庭と推定されている。今回修理を行ったのは、蘭亭庭園の南面と西面を区画する木造の仕切り塀で、経年のために各部が腐朽して倒壊寸前で、庭園に影響を与えかねない状態となっていた。このため、既存の仕切り塀の形式に倣って、新規の仕切り塀を制作した。なお現状の塀は、棟木の損傷が甚だしいため、棟木の腐朽軽減と景観整備の観点から、雁振瓦を新たに被せた。



大通寺蘭亭庭園仕切り塀

4-3 国指定名勝 慶雲館庭園保存整備

1. 事業名称 記念物保存修理
2. 文化財の名称 名勝 慶雲館庭園(指定年月日 平成18年7月8日指定)
3. 所在地 滋賀県長浜市港町
4. 事業の目的 名勝の保存修理
5. 事業期間 平成23年度～平成34年度 13ヶ年(予定)
6. 事業内容

名勝慶雲館庭園の文化財としての本質的価値を適切に保護しつつ、積極的な利活用の推進を図ることを目的とし、「名勝慶雲館庭園保存管理計画」(平成21年3月)および「名勝慶雲館庭園整備基本計画」(平成21年11月)に基づく名勝庭園の修景や修復、植栽管理等の保存整備を実施している。

平成23年度は、①樹木の修復剪定 ②中庭保存整備工事 ③中門前太鼓橋修復工事を行った。

実施主体は長浜市産業経済部観光振興課が行い、長浜市教育委員会文化財保護センターとの綿密な連携のもと、文化庁、滋賀県教育委員会、名勝慶雲館庭園保存整備委員会の指導を得ながら整備事業を実施した。



中庭整備前



中庭整備後

第6節 指定文化財管理事業

1 国指定

1－1 大通寺

重要文化財の大通寺本堂・広間（附玄関）・含山軒及び蘭亭を中心とする建造物に設置されている防災設備（自動火災報知設備、消火設備、避雷設備）の保守点検を行った。

1－2 都久夫須麻神社

国宝の都久夫須麻神社本殿を中心とする建造物に設置されている防災設備（自動火災報知設備、消火設備）の保守点検を行った。

1－3 宝厳寺

国宝の唐門、重要文化財の観音堂と廊下に設置されている防災設備（自動火災報知設備、消火設備）の保守点検を行った。

1－4 五村別院

重要文化財の本堂、表門等に設置されている防災設備（自動火災報知設備、消火設備、避雷設備）の保守点検を行った。

1－5 西徳寺

重要文化財の本堂に設置されている防災設備（自動火災報知設備、消火設備）の保守点検を行った。

1－6 辻家住宅

重要文化財の主屋、表門に設置されている防災設備（自動火災報知設備）の保守点検を行った。

1－7 日吉神社（唐川）

重要文化財の木造千手観音立像、木造菩薩立像が安置されている観音堂に設置されている防災設備（自動火災報知設備、消火設備）の保守点検を行った。

2 県指定

2－1 総持寺

県指定有形文化財の大門に設置されている防災設備（自動火災報知設備）の保守点検を行った。

2－2 池氏庭園

県指定名勝の池氏庭園の除草、清掃、剪定、刈り込み等を行い、荒廃防止に努めた。

2－3 日吉神社（井口）

県指定有形文化財の本殿に設置されている防災設備（自動火災報知設備、消火設備、避雷設備）の保守点検を行った。

2－4 全長寺

県指定有形文化財の本堂等に設置されている防災設備（自動火災報知設備）の保守点検を行った。

2－5 上丹生薬師堂

県指定有形文化財の薬師堂に設置されている防災設備（自動火災報知設備）の保守点検を行った。

2－6 塩津神社

県指定有形文化財の本殿等に設置されている防災設備（自動火災報知設備）の保守点検を行った。

3 市指定

3－1 大通寺学問所庭園

市指定名勝の大通寺学問所庭園の除草、清掃、剪定、刈り込み等を行い、荒廃防止に努めた。

3－2 東野山城跡

市指定史跡の東野山城跡の除草、刈り込み等を行い、荒廃防止に努めた。

3－3 別所山砦跡

市指定史跡の別所山砦跡の除草、刈り込み等を行い、荒廃防止に努めた。

第7節 史跡の現状変更申請

長浜市管内には、名勝・史跡竹生島、史跡小谷城跡、史跡古保利古墳群を始め多くの史跡・名勝が所在する。文化財保護センターでは、保存を行うため適正な管理を行っている。

史跡・名勝の件数（平成24年3月31日現在）

	国指定	県指定	市指定
史跡	4件	11件	17件
名勝	3件	4件	5件
史跡名勝	1件	—	—

史跡については、文化財保護法第182条（都道府県又は市の教育委員会が処理する事務）「2. 第43条又は第125条の規定による現状変更又は保存に影響を及ぼす行為の許可及びその取消し並びにその停止命令（重大な現状変更又は保存に重大な影響を及ぼす行為の許可及びその取消しを除く。）」に係る事務を、文化財保護法施行令第5条（都道府県又は市の教育委員会が処理する事務）に基づき処理を行った。

現状変更許可状況

- ・名勝史跡（国指定） 5件（内 長浜市許可 3件 文化庁許可 2件）
- ・史跡（国指定） 7件（内 長浜市許可 6件 文化庁許可 1件）
- ・滋賀県指定史跡・名勝 1件（内 長浜市許可 1件 滋賀県許可 1件）
- ・長浜市指定史跡・名勝 0件（内 長浜市許可 1件）

第8節 指定文化財保存伝承事業

長浜市文化財保存事業4件に対して補助を行った。

1 国指定重要無形民俗文化財／長浜曳山祭行事保存伝承（保護団体：財団法人長浜曳山文化協会）

ア）曳山祭の現地公開

今年度の出番と外題は以下のとおりであった。

- 一番山 春日山 釣女恋戎詣
- 二番山 月宮殿 嫗山姥 八重桐廓囃
- 三番山 青海山 玉藻前囃袂 道春館の場
- 四番山 諫鼓山 春重四海波

イ）伝承者養成

専門講師を招いて年間86回、曳山博物館のワークルーム等を使用して、太夫・三味線奏者の養成講座「三役修業塾」を実施した。このほか、塾生による発表会を年間1回開催、歌舞伎化粧教室を年間6回開催した。

また、以下の祭礼について塾生を派遣・出演した。

- ・長浜曳山祭青海山2名、垂井曳山祭紫雲閣2名、同攀鱗閣2名、米原曳山祭松翁山2名

ウ) 保存促進

山車が格納されている山蔵および曳山博物館収蔵庫の保存環境（温湿度）調査を行い、東京文化財研究所により分析を行った。また、曳山祭行事・曳山保存専門委員会および修理調査を実施し、次年度以降の山車や懸装品等の修理方針・仕様についての検討を行った。曳山博物館子ども歌舞伎教室を開講し、女子を含む小学生が歌舞伎を学習して発表会を行った。

2 滋賀県選択無形民俗文化財／富田人形保存伝承（保護団体：富田人形共遊団）

専門講師を招いて年間 15 回、富田人形会館を使用して、人形操作、三味線の技芸の習得ならびに向上に努めた。



八朔大祭

3 長浜市指定無形民俗文化財／速水伊豆神社八朔大祭保存伝承（保護団体：湖北町速水区）

八朔大祭に使用する青物神輿を制作するとともに、制作技術を伝承した。また、平成 23 年 9 月 1 日に青物神輿の公開事業を実施した。

4 滋賀県選択無形民俗文化財／下余呉の太鼓踊り保存伝承

（保護団体：下余呉子供会）

太鼓踊りを奉納・伝承するために、太鼓踊りの衣裳・道具類の整備と、踊りの稽古等を実施した。また、平成 23 年 8 月 20 日に太鼓踊りの公開事業を実施した。



下余呉太鼓踊

第 9 節 特別天然記念物・天然記念物

これまでに、長浜市内で確認されているものは、以下のとおりである。

・特別天然記念物ニホンカモシカ

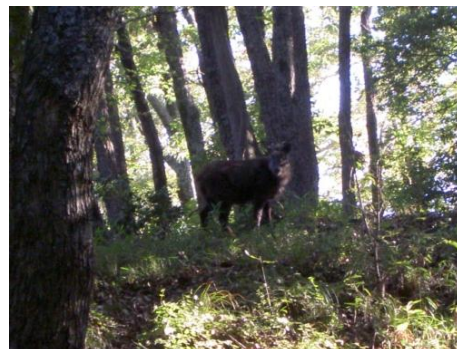
広く本州、四国や九州の低山地から亜高山帯にかけてのブナ、ミズナラなどからなる落葉広葉樹林や混交林などに生息している。

・特別天然記念物オオサンショウウオ

本州の比較的標高の高い河川の上流域などに生息する。活動は夜行性で、昼間は水辺に掘った巣穴などで休んでいる。体長 50～70cm が平均で、中には 1 m を超える個体もある。

・天然記念物オオヒシクイ

夏季にユーラシア大陸北部で繁殖し、冬季になるとヨーロッパや中央アジア、朝鮮半島、黄河や長江流域へ南下し越冬する。全長 78～100cm で、開発による生息地やそれに伴う食物の減少、乱獲などにより生息数は減少しており、1971 年に国の天然記念物に指定されている。



ニホンカモシカ

平成 23 年度は、ニホンカモシカ 2 頭の死亡個体の手続きをしている。（滅失届ほか）

第10節 里山と文化財が織り成す地域資産再生事業

本事業は、文化財が存在する、あるいは文化財の価値や保護環境および景観の保全に係る里山を対象地等とする事業であり、市民が親しみ利用できる地域資産として再生することを目的に不要木の伐採等による森林整備、文化財所在森林への誘導路整備および活用設備（解説板等）設置等を行っている。

（滋賀県補助事業）

今年度は、長浜市下坂中町に所在する国指定史跡「北近江城館跡群下坂氏館跡」（平成18年1月26日指定）において事業を実施した。

事業は、城館跡の景観や眺望を図るため、異常に繁茂した樹木や竹林を伐採整理し、親しみやすい里山に復元した。

さらに里山活用の利便性を高める目的で解説板、案内板や誘導板などを設置した。

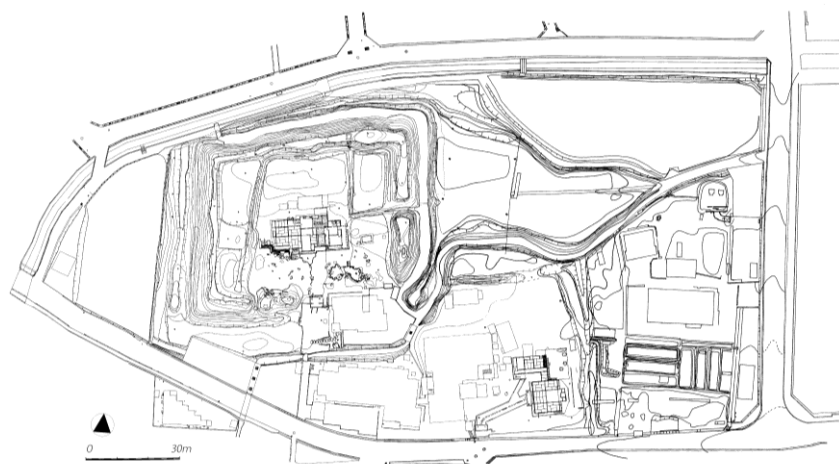
解説板の説明部分以外は、景観に配慮して間伐材に耐久性、防腐防蟻性を高めた樹脂含浸加工の木材を使って作成した。



史跡案内板



遺構解説板



下坂氏館跡平面図

第 11 節 長浜市内所在指定文化財数表

平成 24 年5月1日現在

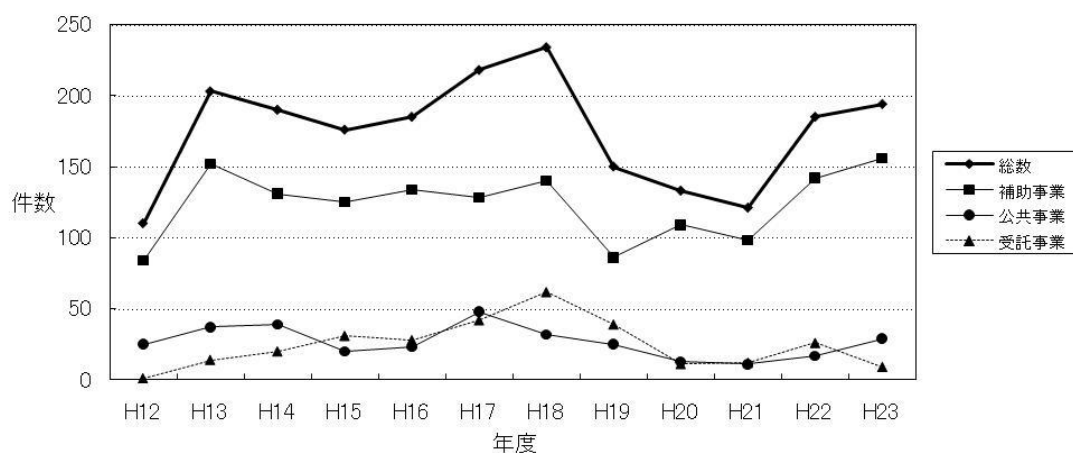
指定区分 指定種別		国 指 定			県指定	市指定	計
		国宝 (特別)	重文	登録			
有形文化財	建造物	2 (2)	11 (15)	14 (14)	8 (8)	16 (20)	51 (59)
	絵 画	-	8 (23)	-	5 (5)	28 (37)	41 (65)
	彫 刻	1 (1)	45 (56)	-	16 (35)	57 (90)	119 (182)
	工芸品	1 (16)	14 (37)	-	11 (31)	27 (28)	53 (112)
	書 籍	1 (1)	4 (444)	-	141695	45 (8696)	64 (10836)
	考古資料	-	1 (1)	-	-	6 (63)	7 (64)
	歴史資料	-	1 (86)	-	-	10 (175)	11 (261)
	(小計)	5 (20)	84 (662)	14 (14)	54 (1774)	189 (9109)	346 (11579)
無形文化財	指 定	-	-	-	-	-	-
	選 択	-	-	-	-	-	-
	(小計)	- -	- -	- -	- -	- -	- -
民俗文化財	有 形	-	-	-	1 (13)	12 (2055)	13 (2068)
	無 形	-	1 (1)	-	2 (2)	7 (7)	10 (10)
	選 択	-	2 (2)	-	9 (9)	-	11 (11)
	(小計)	- -	3 (3)	- -	12 (24)	19 (2062)	34 (2089)
記念物	史 跡	-	4 (135)	-	11 (12)	17 (100)	32 (247)
	名 勝	-	3 (4)	-	4 (4)	5 (5)	12 (13)
	史跡名勝	-	1 (1)	-	-	-	1 (1)
	天然記念物	-	-	-	1 (1)	10 (11)	11 (12)
	(小計)	- -	8 (140)	- -	16 (17)	32 (116)	56 (273)
選定保存技術		-	1 (1)	-	1 (1)	-	2 (2)
(小計)		- -	1 (1)	- -	1 (1)	- -	2 (2)
合 計		5 (20)	96 (806)	14 (14)	83 (1816)	240 (11287)	438 (13943)

※枠内の数字は件数である。()内は点数である。

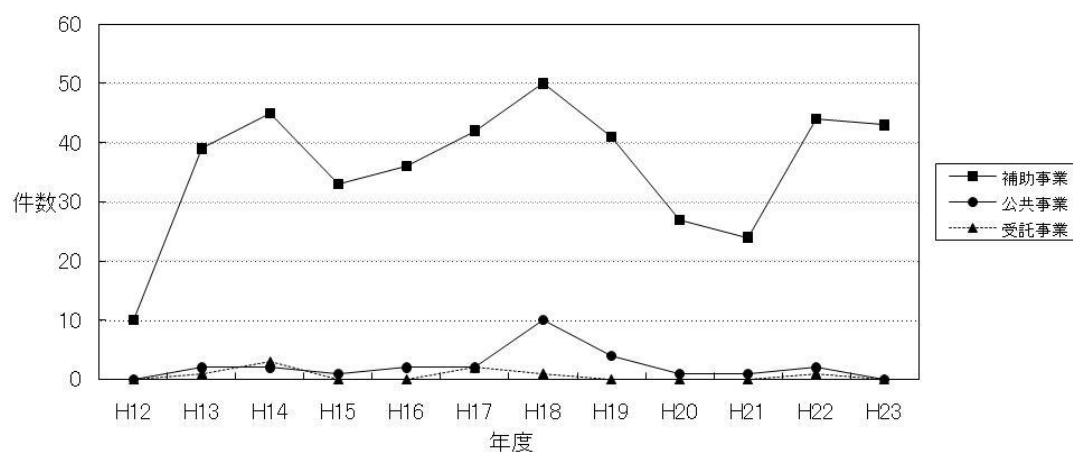
第2章 埋蔵文化財関連事業

第1節 長浜市の埋蔵文化財事業件数の推移

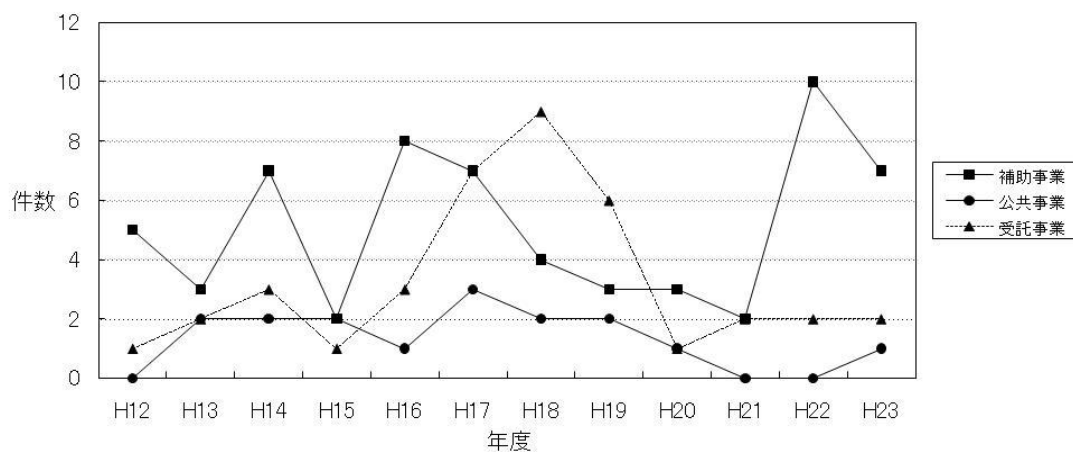
事業別発掘調査届出件数の推移



事業別試掘調査件数



事業別本発掘調査件数



第2節 埋蔵文化財調査事業一覧

1 平成 23 年度調査地一覧

1	安導寺遺跡第 1 次調査	21	高月南遺跡第 34 次調査	41	中町田遺跡第 16 次調査
2	井口遺跡第 11 次調査	22	高月南遺跡第 35 次調査	42	中町田遺跡第 17 次調査
3	梅塚古墳群第 3 次調査	23	高月南遺跡第 36 次調査	43	西野城遺跡第 1 次調査
4	円明寺遺跡第 15 次調査	24	高月南遺跡第 38 次調査	44	野瀬遺跡第 43 次調査
5	大戊亥遺跡第 75 次調査	25	塚町遺跡第 61 次調査	45	野田館遺跡第 1 次調査
6	大戊亥遺跡第 78 次調査	26	塚町遺跡第 62 次調査	46	法性寺遺跡第 3 次調査
7	大辰巳遺跡第 31 次調査	27	塚町遺跡第 63 次調査	47	三田遺跡第 4 次調査
8	国友町遺跡第 39 次調査	28	寺元遺跡第 4 次調査	48	宮司遺跡第 85 次調査
9	国友町遺跡第 44 次調査	29	渡岸寺遺跡第 15 次調査	49	山階遺跡第 12 次調査
10	黒田遺跡第 7 次調査	30	渡岸寺遺跡第 17 次調査	50	列見城遺跡第 7 次調査
11	黒田遺跡第 10 次調査	31	長浜城遺跡第 215 次調査	51	列見町遺跡第 34 次調査
12	古鹿遺跡第 2 次調査	32	長浜城遺跡第 216 次調査		
13	小堀遺跡第 6 次調査	33	長浜城遺跡第 217 次調査		
14	下坂中町遺跡第 8 次調査	34	長浜城遺跡第 218 次調査		
15	十里町遺跡第 32 次調査	35	長浜城遺跡第 219 次調査		
16	十里町城遺跡第 8 次調査	36	長浜城遺跡第 222 次調査		
17	常住庵遺跡第 6 次調査	37	長浜城遺跡第 224 次調査		
18	大円寺遺跡第 7 次調査	38	長浜城遺跡第 231 次調査		
19	高木遺跡第 5 次調査	39	長浜城遺跡第 220 次調査 南呉服町遺跡第 11 次調査		
20	高月南遺跡第 32 次調査	40	長浜町遺跡 124 次調査		

平成 23 年度調査位置図 1



平成 23 年度調査位置図 2



2 補助事業 (160 件)

本発掘調査 7 件、試掘調査 45 件、工事立会 6 件、慎重工事 104 件、測量調査 1 件

(※件数は試掘から本発掘となった案件含む)

No.	遺跡名	次数	調査地	調査期間	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査原因	調査方法
1	安導寺	1	寺田町	10/25	635.5	2	物置新築	試掘調査
2	井口	12	高月町井口	***	14.29	***	倉庫新築	慎重工事
3	井口日吉	5	高月町井口	***	15.12	***	個人住宅増築	慎重工事
4	今村城	3	今町	***	51.8	***	農業倉庫新築	慎重工事
5	内保	48	内保町	***	988	***	宅地造成	慎重工事
6	内保	49	内保町	***	206.4	***	個人住宅新築	慎重工事
7	梅塚古墳群	3	榎木町	8/5	3172	3	社務所建設	試掘調査
8	円明寺	15	室町	1/19	1965.47	39.8	分譲宅地造成	試掘調査
9	大戌亥	74	大戌亥町	***	187.166	***	個人住宅新築	慎重工事
10	大戌亥	75	大戌亥町	10/26	198.34	4	個人住宅新築	試掘調査
11	大戌亥	76	大戌亥町	***	638.03	***	店舗新築	慎重工事
12	大戌亥	78	大戌亥町	3/5	483.52	2	倉庫新築	試掘調査
13	大辰巳	31	大辰巳町	9/14～9/15	3350	60	宅地造成	試掘調査
14	大音	2	木之本町	***	116.08	***	個人住宅新築	慎重工事
15	神照奥屋敷城	1	神照町	***	489.81	***	個人住宅新築	慎重工事
16	川崎	81	八幡中山町	***	183.95	***	個人住宅新築	慎重工事
17	川崎	82	八幡中山町	***	341.4	***	個人住宅新築	慎重工事
18	川崎	83	八幡中山町	***	171	***	個人住宅新築	慎重工事
19	川崎	84	八幡中山町	***	88.2	***	モデルハウス建替え	慎重工事
20	川崎	85	八幡中山町	***	183.95	***	個人住宅新築	慎重工事
21	川崎	86	八幡中山町	***	186.5	***	個人住宅新築	慎重工事
22	川崎	87	八幡中山町	***	183.95	***	個人住宅新築	慎重工事
23	川崎	88	八幡中山町	***	183.95	***	個人住宅新築	慎重工事
24	川崎	89	八幡中山町	***	170.79	***	個人住宅新築	慎重工事
25	川崎南	19	川崎町	***	48	***	個人住宅の自動車車庫 新築	慎重工事
26	川崎南	20	川崎町	***	208.28	***	寺院本堂新築	慎重工事
27	国友町	39	国友町	4/19	101.17	2.5	個人住宅新築	試掘調査
28	国友町	40	国友町	***	99	***	個人住宅新築	慎重工事
29	国友町	41	国友町	***	403.32	***	個人住宅新築	慎重工事
30	国友町	42	国友町	***	438.56	***	住宅用倉庫新築	慎重工事
31	国友町	43	国友町	***	103.51	***	個人住宅新築	慎重工事
32	国友町	44	国友町	11/25	305.49	12	個人住宅新築	試掘調査
33	国友町	45	国友町	***	420.41	***	個人住宅新築	慎重工事
34	黒田	7	木之本町黒田	4/15	127.23	7.5	個人住宅新築	試掘調査
35	黒田	8	木之本町黒田	***	258.04	***	個人住宅新築	慎重工事
36	黒田	9	木之本町黒田	***	212.26	***	個人住宅新築	慎重工事
37	黒田	10	木之本町黒田	6/20	2661.08	20	分譲地造成	試掘調査
38	黒田	11	木之本町黒田	***	225.29	***	個人住宅新築	慎重工事
39	黒田	12	木之本町黒田	***	249.67	***	個人住宅新築	慎重工事
40	黒田	13	木之本町黒田	***	37.11	***	住宅用物置新築	慎重工事
41	黒田	14	木之本町黒田	***	83.5	***	個人住宅新築	慎重工事
42	黒田	15	木之本町黒田	***	221.73	***	個人住宅新築	慎重工事
43	上坂城	19	西上坂町	***	430.97	***	個人住宅建築造成	慎重工事
44	小沢城	11	小沢町	***	307.61	***	個人住宅新築	慎重工事
45	古鹿	2	北池町	3/12～3/14	6709.2	195	土砂採取	試掘調査
46	越前塚	34	加納町	***	7321.56	***	保育所用地造成	慎重工事
47	越前塚	35	加納新町	***	97.71	***	個人住宅新築	慎重工事
48	越前塚	36	加納町	***	704.1	***	工場施設の増築	慎重工事
49	小堀	5	小堀町	***	959.57	***	擁壁工事	慎重工事
50	小堀	6	小堀町	12/15	1168	40	老人デイサービスセンタ ー新築	試掘調査
51	五村	10	五村	***	174	***	駐車場	慎重工事
52	地蔵	10	泉町	***	625.89	***	上屋及び倉庫新築	慎重工事
53	地福寺	49	地福寺町	***	150.49	***	個人住宅新築	慎重工事
54	地福寺	50	地福寺町	***	135.42	***	個人住宅新築	慎重工事
55	地福寺	51	地福寺町	***	307.8	***	物置新築	慎重工事
56	下坂中町	8	下坂中町	8/29	1566	4	コンビニエンスストアおよ び駐車場建設	試掘調査

No.	遺跡名	次数	調査地	調査期間	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査原因	調査方法
57	十里町	33	十里町	***	271.08	***	個人住宅新築	慎重工事
58	十里町	35	十里町	***	74.52	***	個人住宅新築	慎重工事
59	十里町城	8	十里町	8/30	1196.21	2.25	個人住宅新築	試掘調査
60	常住庵	6	高月町磯野	11/1	665.7	3	個人住宅新築・蔵移設	試掘調査
61	神照寺坊	65	新庄寺町	***	174.12	***	個人住宅新築	慎重工事
62	神照寺坊	66	新庄寺町	***	615.23	***	宅地造成	試掘調査 (次年度)
63	千田館	1	木ノ本町千田	***	819.64	***	個人住宅新築	工事立会
64	大円寺	7	高月町高月	10/24	88.04	4	個人住宅改築	試掘調査
65	大円寺	8	高月町落川	***	92.4	***	携帯電話基地局建設	試掘調査 (次年度)
66	高木	5	南郷町	11/16	174.51	2	携帯電話基地局建設	試掘調査
67	高田氏館	4	南高田町	***	99.46	***	住宅用物入れ新築	慎重工事
68	高月南	33	高月町高月	***	80.45	***	個人住宅新築	慎重工事
69	高月南	34	高月町宇根	12/14～ 12/28	200.09	55	個人住宅新築	本掘調査
70	高月南	35	高月町	12/19～1/6	65.68	15	個人住宅新築	本掘調査
71	高月南	36	高月町宇根	1/10～1/27	200.59	64.5	個人住宅新築	本掘調査
72	高月南	38	高月町宇根	2/23～3/6	130.67	25	個人住宅新築	本掘調査
73	高橋	47	高橋町	***	243.06	***	個人住宅新築	慎重工事
74	だんじゅく塚古墳	1	余呉町菅並	5/14	6	***	携帯電話基地局建設	工事立会
75	塚町	61	平方町	6/30	55.3	2.25	携帯電話基地局建設	試掘調査
76	塚町	62	平方南町	9/8	185.55	2	長屋住宅新築	試掘調査
77	塚町	63	平方南町	11/30	99.37	6	集合住宅新築	試掘調査
78	寺元	4	南田附町	11/17	250.78	4	個人住宅新築	試掘調査
79	天王社	5	祇園町	***	924.16	***	仮設道路・L字擁壁	慎重工事
80	渡岸寺	15	高月町渡岸寺	4/26 4/27～6/2	362	230	個人住宅新築	試掘調査 本掘調査
81	渡岸寺	16	高月町渡岸寺	***	173.84	***	個人住宅新築	慎重工事
82	渡岸寺	17	高月町渡岸寺	8/2	909	15	個人住宅新築	試掘調査
83	渡岸寺	18	高月町柏原	***	313	***	個人住宅新築	慎重工事
84	長浜城	215	港町	4/27	320	4	共同住宅建設	試掘調査
85	長浜城	216	公園町	7/15	207.13	5.25	共同住宅建設	試掘調査
86	長浜城	218	南呉服町	6/9	144	3	個人住宅新築	試掘調査
87	長浜城	219	公園町	6/15	2020.61	11.25	店舗新築	試掘調査
88	長浜城	221	鐘紡町	***	174.09	***	個人住宅新築	慎重工事
89	長浜城	222	北船町	8/3	105.78	3	長屋住宅新築	試掘調査
90	長浜城	223	殿町	***	170.4	***	建売住宅	慎重工事
91	長浜城	224	南呉服町	8/23	155.98	3	個人住宅新築	試掘調査
92	長浜城	225	港町	***	120.94	***	個人住宅新築	慎重工事
93	長浜城	217	北船町	10/7	173.64	4	個人住宅新築	試掘調査
94	長浜城	226	鐘紡町	***	170.01	***	個人住宅新築	慎重工事
95	長浜城	227	鐘紡町	***	170.22	***	個人住宅新築	慎重工事
96	長浜城	228	殿町	***	183.36	***	個人住宅新築	慎重工事
97	長浜城	230	公園町	***	205.63	***	個人住宅新築	慎重工事
98	長浜城	231	元浜町	2/14	119.02	10	個人住宅新築	試掘調査
99	長浜城	232	公園町	2/27	574.69	***	個人住宅新築	工事立会
100	長浜城	233	南呉服町	***	48.56	***	個人住宅新築	慎重工事
101	長浜城遺跡 南呉服町	220 11	北船町	7/13	744.56	9.6	駅前ビル新築	試掘調査
102	長浜町	123	元浜町	***	274	***	個人住宅新築	慎重工事
103	長浜町	124	元浜町	5/13	277.68	3	個人住宅新築	試掘調査
104	長浜町	125	朝日町	***	48	***	倉庫新築	慎重工事
105	長浜町	128	宮前町	5/30	22066.35	***	病院建築	工事立会
106	長浜町	129	宮前町	***	57.96	***	個人住宅新築	慎重工事
107	長浜町	130	宮前町	***	62.27	***	店舗新築	慎重工事
108	中町田	15	七条町	***	587.33	***	個人住宅新築	慎重工事
109	中町田	16	七条町	10/6	1783.98	18	駐車場造成	試掘調査
110	中町田	17	七条町	10/6	499	4	店舗新築	試掘調査
111	西阿閉	1	高月町西阿閉	***	29.23	***	物置新築	慎重工事
112	西野城	1	高月町西野	7/25	63.76	4	個人住宅新築	試掘調査
113	西野城	2	高月町西野	***	778.04	***	農作業場・便所・自転車 置き場新築	慎重工事
114	野瀬	42	山階町	***	496	***	店舗新築	慎重工事

No.	遺跡名	次数	調査地	調査期間	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査原因	調査方法
115	野瀬	43	口分田町	11/29	420	14	宅地造成	試掘調査
116	野田館	1	野田町	6/10	341.55	1.8	個人住宅新築	試掘調査
117	春近	5	春近町	***	622.29	***	個人住宅新築	慎重工事
118	東高田	19	南高田町	***	321.23	***	個人住宅新築	慎重工事
119	東屋敷	5	常喜町	***	92.3	***	個人住宅新築	慎重工事
120	平方	16	四ツ塚町	***	142.25	***	個人住宅新築	慎重工事
121	平塚	4	平塚町	***	363.61	***	個人住宅新築	慎重工事
122	福満寺	56	四ツ塚町	***	231.11	***	個人住宅車庫	慎重工事
123	福満寺	57	勝町	***	85.56	***	個人住宅新築	慎重工事
124	福満寺	58	勝町	***	403.2	***	駐車場	慎重工事
125	布施	1	高月町布施	***	19.25	***	物置増築	慎重工事
126	布勢東	9	布勢町	***	30	***	携帯電話基地局撤去	慎重工事
127	法性寺	3	***	11/28～12/7	***	***	***	測量調査
128	保延寺館	1	高月町保延寺	***	303	***	駐車場舗装	慎重工事
129	堀部西	47	堀部町	***	51.47	***	倉庫新築	慎重工事
130	馬上南	5	高月町馬上	11/16	130	***	物置新築	工事立会
131	三田	4	三田町	4/22	53.61	1.5	農業倉庫新築	試掘調査
132	南小足	16	南小足町	***	723.75	***	自動車修理工場の新築	慎重工事
133	南小足	17	南小足町	***	349.87	***	個人住宅新築	慎重工事
134	宮司	84	宮司町	***	378.16	***	個人住宅新築	慎重工事
135	宮司	85	宮司町	3/19	369.42	4	個人住宅新築	試掘調査
136	妙光庵	3	高月町磯野	***	845.68	***	書院建設	慎重工事
137	妙光庵	4	高月町磯野	***	214.87	***	倉庫新築	慎重工事
138	室	65	室町	***	114.28	***	個人住宅新築	慎重工事
139	室	66	宮司町	***	63.76	***	個人住宅新築	慎重工事
140	室	67	宮司町	***	183.56	***	個人住宅新築	慎重工事
141	室	68	宮司町	***	3174.37	***	倉庫新築	慎重工事
142	室	69	宮司町	***	77.071	***	個人住宅新築	慎重工事
143	室	70	宮司町	***	262.42	***	個人住宅新築	慎重工事
144	物部	16	高月町東物部	***	543.82	***	ゴミ集積所新築	慎重工事
145	物部	17	高月町東物部	***	123.1	***	個人住宅新築	慎重工事
146	柳町	6	平方町	***	101.02	***	分譲住宅新築	慎重工事
147	柳野	3	高月町東柳野	***	218.92	***	個人住宅新築	慎重工事
148	柳野	4	高月町柳野中	***	67.07	***	個人住宅新築	慎重工事
149	柳野	5	高月町東柳野	***	91.09	***	個人住宅新築	慎重工事
150	八幡東	39	八幡中山町	***	39.74	***	個人住宅新築	慎重工事
151	八幡東	40	八幡東町	***	170.46	***	店舗新築	慎重工事
152	山階	12	山階町字前町	6/7	96.1	4.4	事務所新築	試掘調査
153	弓月野	20	八島町	***	181.16	***	個人住宅新築	慎重工事
154	八日市	7	湖北町八日市	***	2373	***	駐車場兼資材置場	慎重工事
155	横山	8	高月町唐川	***	30.38	***	物置新築	慎重工事
156	横山神社	2	高月町横山	***	529.55	***	介護施設新築	慎重工事
157	列見城	6	列見町	***	89.97	***	個人住宅新築	慎重工事
158	列見城	7	三ツ矢元町	11/24 11/28～12/8	139.41	14	個人住宅新築	試掘調査 本掘調査
159	列見町	33	列見町	8/8	330	***	倉庫新築	工事立会
160	列見町	34	列見町	2/15 2/16～3/9	156.14	35	個人住宅新築	試掘調査 本掘調査

補助事業として試掘・本掘調査を行った遺跡は、平成 24 年度に小規模開発関連発掘調査報告書としてまとめて刊行するので、詳細はそちらを参照されたい。

2-1 本発掘調査

高月南遺跡第34次調査（高月町宇根）

個人住宅建築に伴う本発掘調査で、対象面積200.09㎡のうち、工事等により遺跡の破壊を免れないと判断した55㎡について本発掘調査を実施した。

本発掘調査は、平成23年12月14日～12月28日にかけて行った。

調査の結果、古墳、土坑、柱穴を検出し、遺物は土師器が出土した。



高月南遺跡第34次調査

高月南遺跡第35次調査（高月町宇根）

個人住宅建築に伴う本発掘調査で、対象面積65.68㎡のうち、工事等により遺跡の破壊を免れないと判断した15㎡について本発掘調査を実施した。

本発掘調査は、平成23年12月19日～平成24年1月6日にかけて行った。

調査の結果、溝状遺構を検出し、遺物は須恵器、土師器が出土した。



高月南遺跡第35次調査

高月南遺跡第36次調査（高月町宇根）

個人住宅建築に伴う本発掘調査で、対象面積200.59㎡のうち、工事等により遺跡の破壊を免れないと判断した64.5㎡について本発掘調査を実施した。

本発掘調査は、平成24年1月10日～1月27日にかけて行った。

調査の結果、古墳を検出し、遺物は土師器、須恵器等が出土した。



高月南遺跡第36次調査

高月南遺跡第38次調査（高月町宇根）

個人住宅建築に伴う本発掘調査で、対象面積130.67㎡のうち、工事等により遺跡の破壊を免れないと判断した25㎡について本発掘調査を実施した。

本発掘調査は、平成24年2月23日～3月6日にかけて行った。

調査の結果、土坑、柱穴を検出し、遺物は出土しなかった。



高月南遺跡第38次調査

渡岸寺遺跡第 15 次調査（高月町渡岸寺）

個人住宅建築に伴う本発掘調査で、対象面積 362 m²のうち、工事等により遺跡の破壊を免れないと判断した 230 m²について本発掘調査を実施した。

平成 23 年 4 月 26 日に試掘調査を行い、本発掘調査は平成 23 年 4 月 27 日～6 月 2 日にかけて行った。

調査の結果、掘立柱建物跡、土坑、溝状遺構、柱穴を検出し、遺物は須恵器、土師器が出土した。



渡岸寺遺跡第 15 次調査

列見城遺跡第 7 次調査（三ツ矢元町）

個人住宅建築に伴う本発掘調査で、対象面積 139.41 m²のうち、工事等により遺跡の破壊を免れないと判断した 14 m²について本発掘調査を実施した。

平成 23 年 11 月 24 日に試掘調査を行い、本発掘調査は平成 23 年 11 月 28 日～12 月 8 日にかけて行った。調査面積は 14 m²であった。

調査の結果、溝状遺構、柱穴等を検出し、遺物は土師器が出土した。



列見城遺跡第 7 次調査

列見町遺跡第 34 次調査（列見町）

個人住宅建築に伴う本発掘調査で、対象面積 156.14 m²のうち、工事等により遺跡の破壊を免れないと判断した 35 m²について本発掘調査を実施した。

個人住宅建築に伴う本発掘調査で、平成 24 年 2 月 15 日に試掘調査を行い、本発掘調査は平成 24 年 2 月 16 日～3 月 9 日にかけて行った。

調査の結果、溝状遺構・ピット・土坑を検出し、遺物は須恵器・土師器・陶器・銅銭が出土した。



列見町遺跡第 34 次調査

2-2 測量調査

法性寺遺跡第 3 次調査（垣籠町）

法性寺遺跡は長浜市垣籠町に所在する寺院跡とみられる遺跡です。長浜市では平成 21 年度から測量調査を実施し遺跡の全体像の把握を試みている。平成 23 年度は遺跡の東側を中心に測量を実施した。

2-3 試掘調査

安導寺遺跡第1次調査（寺田町）

平成23年10月25日に物置新築に伴う試掘調査を行った。

対象面積 635.5 m²に対し1ヶ所のトレンチを設定し、2 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。



安導寺遺跡第1次調査

梅塚古墳群第3次調査（榎木町）

平成23年8月5日に社務所建設に伴う試掘調査を行った。

対象面積 3172 m²に対し1ヶ所のトレンチを設定し、3 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。



梅塚古墳群第3次調査

円明寺遺跡第15次調査（室町）

平成23年1月19日に分譲宅地造成に伴う試掘調査を行った。

対象面積 1965.47 m²に対し13ヶ所のトレンチを設定し、39.8 m²について実施した。

調査の結果、遺構は、T2で柱穴または土坑状遺構と溝状遺構が検出された。遺物は確認できなかった。



円明寺遺跡第15次調査

大戌亥遺跡第75次調査（大戌亥町）

平成23年10月26日に、個人住宅新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 198.34 m²に対し2ヶ所のトレンチを設定し、4 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。



大戌亥遺跡第75次調査

大戌亥遺跡第78次調査（大戌亥町）

平成24年3月5日に倉庫新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 483.52 m²に対し1ヶ所のトレンチを設定し、2 m²について実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。



大戌亥遺跡第78次調査

大辰巳遺跡第 31 次調査 （大辰巳町）

平成 23 年 9 月 14 日～9 月 15 日にかけて、宅地造成工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 3350 m²に対し 30 ヶ所のトレンチを設定し、60 m²について調査を実施した。

調査の結果、溝状遺構が確認された。遺物は、弥生土器が出土した。

遺構が確認された部分が、極めて限定的であったため、遺構の広がりやの想定される部分については工事立会調査とした。



大辰巳遺跡第 31 次調査

国友町遺跡第 39 次調査 （国友町）

平成 23 年 4 月 19 日に、個人住宅新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 101.17 m²に対し、3 ヶ所のトレンチを設定し、2.5 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



国友町遺跡第 39 次調査

国友町遺跡第 44 次調査 （国友町）

平成 23 年 11 月 25 日に、個人住宅新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 305.49 m²に対し、1 ヶ所のトレンチを設定し、12 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



国友町遺跡第 44 次調査

黒田遺跡第 7 次調査 （木之本町）

平成 23 年 4 月 15 日に、個人住宅新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 127.23 m²に対し 2 ヶ所のトレンチを設定し、7.5 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



黒田遺跡第 7 次調査

古鹿遺跡第 2 次調査 （北池町）

平成 24 年 3 月 12 日～3 月 14 日かけて、土砂採取に伴う試掘調査を行った。

対象面積 6709.2 m²に対し 36 ヶ所のトレンチを設定、195 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構はピット・溝・土坑が検出され、遺物は土師器・須恵器が出土した。



古鹿遺跡第 2 次調査

小堀遺跡第6次調査（小堀町）

平成23年12月15日に、老人デイサービス新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積1168㎡に対し20ヶ所のトレンチを設定し、40㎡について調査を実施した。

調査の結果、遺構は土坑・柱穴が確認された。遺物は縄文土器が出土した。

調査の結果を基に協議を行い、遺構を保護するための十分な保護層を設けることができると判断したため、慎重工事対応とした。



小堀遺跡第6次調査

下坂中町遺跡第8次調査（下坂中町）

平成23年8月29日に、コンビニエンスストアおよび駐車場建設工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積1,566㎡に対し2ヶ所のトレンチを設定し、4.5㎡について実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



下坂中町遺跡第8次調査

十里町城遺跡第8次調査（十里町）

平成23年8月30日に、個人住宅新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積1196.21㎡に対し、1ヶ所のトレンチを設定し、2.25㎡について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



十里町城遺跡第8次調査

常住庵遺跡第6次調査（高月町磯野）

平成23年11月1日に、個人住宅新築工事および蔵移設に伴う試掘調査を行った。

対象面積665.7㎡に対し1ヶ所のトレンチを設定し、3㎡について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



常住庵遺跡第6次調査

大円寺遺跡第7次調査（高月町高月）

平成23年10月24日に、個人住宅改築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積88.04㎡に対し、2か所のトレンチを設定し、4㎡について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



大円寺遺跡第7次調査

高木遺跡第5次調査（南郷町）

平成23年11月16日に携帯電話基地局建設に伴う試掘調査を行った。

対象面積 174.51 m²に対し1ヶ所のトレンチを設定、2 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



高木遺跡第5次調査

塚町遺跡第61次調査（平方町）

平成23年6月30日に、携帯電話基地局建設に伴う試掘調査を行った。

対象面積 55.3 m²に対し1ヶ所のトレンチを設定、2.25 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



塚町遺跡第61次調査

塚町遺跡第62次調査（平方南町）

平成23年9月8日に、長屋住宅新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 185.55 m²に対し1ヶ所のトレンチを設定し、2 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



塚町遺跡第62次調査

塚町遺跡第63次調査（平方南町）

平成23年11月30日に、集合住宅新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 99.37 m²に対し3ヶ所のトレンチを設定し、6 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



塚町遺跡第63次調査

寺元遺跡第4次調査（南田附町）

平成23年11月17日に、個人住宅新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 250.78 m²に対し1ヶ所のトレンチを設定、3 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



寺元遺跡第4次調査

渡岸寺遺跡第 15 次調査 （高月町渡岸寺）

平成 23 年 4 月 26 日に、個人住宅新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 362 m²に対し 5 ヶ所のトレンチを設定し、10.6 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構は、溝状遺構、柱穴を検出した。遺物は、土師器、須恵器が出土した。

調査結果を基に協議を行い、引き続き本発掘調査を実施することとなった。



渡岸寺遺跡第 15 次調査

渡岸寺遺跡第 17 次調査 （高月町渡岸寺）

平成 23 年 8 月 2 日に、個人住宅新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 909 m²に対し 6 ヶ所のトレンチを設定し、15 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺物は出土しなかったが、土坑などの遺構を確認した。



渡岸寺遺跡第 17 次調査

長浜城遺跡第 215 次調査 （港町）

平成 23 年 4 月 27 日に、共同住宅建設工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 320 m²に対し 2 ヶ所のトレンチを設定し、13.6 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



長浜城遺跡第 215 次調査

長浜城遺跡第 216 次調査 （公園町）

平成 23 年 7 月 15 日に、共同住宅建設に伴う試掘調査を行った。

対象面積 207.13 m²に対し 1 ヶ所のトレンチを設定し、5.25 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



長浜城遺跡第 216 次調査

長浜城遺跡第 217 次調査 （北船町）

平成 23 年 10 月 7 日に、個人住宅新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 173.64 m²に対し 1 ヶ所のトレンチを設定し、4 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



長浜城遺跡第 217 次調査

長浜城遺跡第 218 次調査 （南呉服町）

平成 23 年 6 月 9 日に、個人住宅新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 144 m²に対し 1 ヶ所のトレンチを設定し、3 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



長浜城遺跡第 218 次調査

長浜城遺跡第 219 次調査 （公園町）

平成 23 年 6 月 15 日に、店舗新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 2020.61 m²に対し 3 ヶ所のトレンチを設定し、11.25 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



長浜城遺跡第 219 次調査

長浜城遺跡第 222 次調査 （北船町）

平成 23 年 8 月 3 日に、長屋住宅新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 105.78 m²に対し 1 ヶ所のトレンチを設定し、3 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



長浜城遺跡第 222 次調査

長浜城遺跡第 224 次調査 （南呉服町）

平成 23 年 8 月 23 日に、個人住宅新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 155.98 m²に対し 1 ヶ所のトレンチを設定、3 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



長浜城遺跡第 224 次調査

長浜城遺跡第 231 次調査 （元浜町）

平成 24 年 2 月 14 日に、個人住宅新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 119.02 m²に対し 1 ヶ所のトレンチを設定し、10 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構は、長浜城の外堀が確認された。遺物は、磁器が出土した。



長浜城遺跡第 231 次調査

長浜城遺跡第220次調査・南呉服町遺跡第11次調査（北船町）

平成23年7月13日に、駅前ビル新築工事に伴う試掘調査を実施した。

対象面積 744.56 m²に対し3ヶ所のトレンチを設定し、9.6 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



長浜城遺跡第220次・南呉服町遺跡第11次調査

長浜町遺跡第124次調査（元浜町）

平成23年5月13日に、個人住宅新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 277.68 m²に対し1ヶ所のトレンチを設定し、3 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



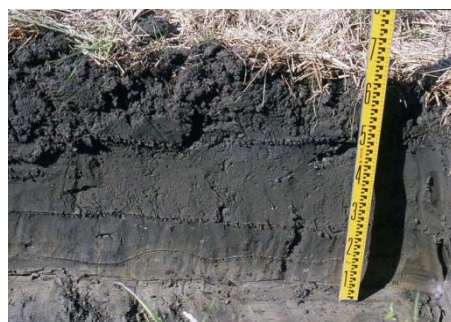
長浜町遺跡第124次調査

中町田遺跡第16次調査（七条町）

平成23年10月6日に、駐車場造成に伴う試掘調査を行った。

対象面積 1783.98 m²に対し9ヶ所のトレンチを設定し、18 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



中町田遺跡第16次調査

中町田遺跡第17次調査（七条町）

平成23年10月6日に、店舗新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 499 m²に対し2ヶ所のトレンチを設定し、4 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



中町田遺跡第17次調査

西野城遺跡第1次調査（高月町西野）

平成23年7月25日に、個人住宅新築に伴う試掘調査を行った。

対象面積 63.76 m²に対し1ヶ所のトレンチを設定し、3 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



西野城遺跡第1次調査

野瀬遺跡第 43 次調査 （口分田町）

平成 23 年 11 月 29 日に、宅地造成に伴う試掘調査を行った。

対象面積 420 m²に対し 7 ヶ所のトレンチを設定し、14 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



野瀬遺跡第 43 次調査

野田館遺跡第 1 次調査 （野田町）

平成 23 年 6 月 10 日に、個人住宅新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 341.55 m²に対し 1 ヶ所のトレンチを設定し、1.8 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



野田館遺跡第 1 次調査

三田遺跡第 4 次調査 （三田町）

平成 23 年 4 月 22 日に、農業倉庫新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 53.61 m²に対し 1 ヶ所のトレンチを設定し、1.5 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



三田遺跡第 4 次調査

宮司遺跡第 85 次調査 （宮司町）

平成 24 年 3 月 19 日に、個人住宅新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 369.42 m²に対し 2 ヶ所のトレンチを設定し、4 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



宮司遺跡第 85 次調査

山階遺跡第 12 次調査 （山階町）

平成 23 年 6 月 7 日に、事務所新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 96.1 m²に対し 2 ヶ所のトレンチを設定し、4.4 m²について調査を実施した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。



山階遺跡第 12 次調査

列見城遺跡第7次調査 (三ツ矢元町)

平成23年11月24日に、個人住宅新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 139.41 m²に対し1ヶ所のトレンチを設定、2 m²について調査を実施した。

調査の結果、溝状遺構、柱穴等が確認された。

調査結果を基に協議を行い、引き続き本発掘調査を実施することとなった。



列見城遺跡第7次調査

列見町遺跡第34次調査 (列見町)

平成24年2月15日に、個人住宅新築工事に伴う試掘調査を行った。

対象面積 156.14 m²に対し1ヶ所のトレンチを設定、2 m²について調査を実施した。

調査の結果、溝状遺構、土坑、柱穴が確認された。遺物は、出土しなかった。

調査結果を基に協議を行った結果、引き続き本発掘調査を実施することとなった。



列見町遺跡第34次調査

3 公共事業 (30件)

本発掘調査3(2)件、試掘調査2(2)件、工事立会22(14)件、慎重工事件6(5)件

() 内は県対応

No.	遺跡名	回数	調査地	調査期間	対象面積 (m ²)	調査面積 (m ²)	調査原因	調査方法
1	井口	11	高月町井口	6/27~ 8/19	1885	189	歩道新設	本掘調査
2	内保	47	内保町	11/11	370.6	***	雨水渠設置	工事立会
3	瓜生	県対応	瓜生町・高畑町	***	195	***	防火水槽・農業用水路改修	試掘調査 工事立会
4	大浦C	県対応	西浅井町大浦	***	3000	***	斜面对策	工事立会
5	大辰巳	30	永久寺町	5/2	197.11	***	美術教室増築	工事立会
6	小谷城	6	尊勝寺町	***	300	***	歩道設置・補修	工事立会
7	小谷城城下町	県対応	湖北町伊部	***	2.4	***	排水路	工事立会
8	大路館	1	大路町	12/1	80.2	***	側溝設置等	工事立会
9	菅山寺砦	県対応	余呉町中ノ郷	***	500	***	作業道開設	工事立会
10	黒田	県対応	木之本町黒田	***	178.76	***	地区集会所新築	慎重工事
11	黒田長山古墳群	県対応	木之本町黒田	***	1740	***	治山施設	工事立会
12	塩津港	県対応	西浅井町塩津浜	***	7590	***	航路維持浚渫	慎重工事
13	塩津港	県対応	西浅井町塩津浜	***	735	***	橋梁下部	本掘調査
14	菅浦	県対応	西浅井町菅浦	***	3,800	***	落石防護柵設置	工事立会
15	尊勝寺	県対応	尊勝寺町、平塚町、 尊野町	***	2050	***	農業基盤整備	工事立会
16	大円寺	県対応	高月町高月	***	145	***	L型側溝工他	工事立会
17	高田氏館	5	南高田町	11/17	178.5	***	道路拡幅	工事立会
18	高月南	37	高月町高月	***	1290	***	道路舗装工他	慎重工事
19	津里廃寺	県対応	湖北町津里	***	38.3	***	泥溜工	工事立会

No.	遺跡名	次数	調査地	調査期間	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査原因	調査方法
20	留目B	県対応	湖北町留目	***	15.6	***	排水路	工事立会
21	留目松橋	県対応	湖北町留目	***	25	***	用水路	工事立会 慎重工事
22	長浜町	127	元浜町	10/6	570	***	公園造成	工事立会
23	長浜町	131	朝日町	3/1	186.1	***	側溝設置	工事立会
24	長浜町遺跡 妙覚院	126 1	宮前町・大宮町	***	1600	***	道路舗装・側溝	工事立会
25	早崎	県対応	早崎町	***	8700	***	航路維持浚渫	慎重工事
26	三田	県対応	三田町	***	335	***	用水路	工事立会
27	宮部遺跡・宮 部城	県対応	宮部町	***	31000	***	用水路工・排水路工・暗 渠排水工	工事立会 慎重工事
28	岩熊B	県対応	西浅井町岩熊	***	805	***	擁壁工他	工事立会
29	横山城	県対応	石田町	***	21500	***	道路改良	試掘調査
30	横山城	県対応	石田町	***	2500	***	道路改良工	本掘調査

3-1 本発掘調査

井口遺跡第11次調査（高月町井口）

市道東物部井口線歩道新設工事に伴う本発掘調査で対象面積 1,885 ㎡のうち、遺構、遺物の確認されなかった範囲を除き、工事等により遺跡の破壊を免れないと判断した 189 ㎡について本発掘調査を実施した。

試掘調査は、平成 23 年 3 月 29 日～31 日に行い、遺構・遺物を確認した。協議の結果、本発掘調査は平成 23 年 6 月 27 日～8 月 19 日にかけて行った。

調査の結果、古墳時代や古代の竪穴建物、溝、土坑、柱穴を検出し、遺物は土師器、須恵器、陶器、瓦が出土した。竪穴建物は 6 棟確認し、3 棟で竈に伴う煙道を確認した。調査対象地の東側を中心に遺構・遺物を検出しており同時期の集落が広がることが確認された。

詳細は長浜市埋蔵文化財調査資料第 134 集を参考されたい。



井口遺跡第 11 次調査

4 受託事業（11 件）

本発掘調査 2 件、工事立会 5 件、慎重工事 4 件

No	遺跡名	次数	調査地	調査期間	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査原因	調査方法
1	大戌亥	77	大戌亥町	***	6.8	***	ガス低圧管新設及び引込管新設	慎重工事
2	大辰巳	32	大辰巳町	***	62.3	***	ガス低圧管新設	慎重工事
3	相撲東	1	祇園町・川道町	9/1・9/13	1998.5	***	ガス中圧 A 管新設	工事立会
4	十里町	32	十里町	5/9～9/6	6216.91	1965	宅地造成	本掘調査
5	十里町	34	十里町	***	153.6	***	ガス低圧管新設及び引込管新設	慎重工事
6	大通寺	21	元浜町	12/14～ 12/15	4	***	消火ポンプ用制御線	工事立会
7	高月南	32	高月町宇根	5/11～8/8	3547	808.5	分譲宅地造成	本掘調査
8	高田氏館	6	南高田町	11/17	***	***	ガス低圧管移設	工事立会
9	長浜城	229	港町	1/23	96.5	***	ガス低圧管新設及び引込管新設	工事立会
10	長浜城	234	港町	***	21.1	***	ガス低圧管新設	工事立会
11	室	64	宮司町	***	58.5	***	ガス低圧管新設	慎重工事

4-1 本発掘調査

十里町遺跡第32次調査（十里町）

宅地造成工事に伴う本発掘調査で、対象面積6,200 m²のうち、遺構・遺物の確認されなかった範囲を除き、工事等により遺跡の破壊を免れないと判断した2,400 m²について本発掘調査を実施した。

試掘調査を平成22年12月21日～22日、平成23年2月3日に行い、遺構・遺物を確認した。協議の結果、本発掘調査は平成23年5月9日～9月6日にかけて行った。

調査の結果、弥生時代～古代の掘立柱建物跡、土坑、鋤溝を検出し、遺物は弥生土器、土師器、須恵器が出土した。

詳細は長浜市埋蔵文化財調査資料第136集を参考されたい。



十里町遺跡第32次調査

高月南遺跡第32次調査（高月町宇根）

宅地造成工事に伴う本発掘調査で、対象面積3,547 m²のうち、工事等により遺跡の破壊を免れないと判断した808.5 m²について本発掘調査を実施した。

本発掘調査は、平成23年5月13日～8月8日にかけて行った。

調査の結果、弥生時代～平安時代の竪穴建物、掘立柱建物、古墳を検出し、遺物は弥生土器、土師器、須恵器、石器が出土した。

詳細は長浜市埋蔵文化財調査資料第135集を参考されたい。



高月南遺跡第32次調査

5 整理調査

平成23年度は補助事業では高月南遺跡第34次調査、第35次調査、第36次調査、第38次調査、彼岸寺遺跡第15次調査、列見城遺跡第7次調査、列見町遺跡第34次調査について整理調査を実施した。

昨年度長浜市で実施した小規模開発関連の発掘調査を行った遺跡は、小規模開発関連発掘調査報告書としてまとめ刊行した。

受託事業では十里町遺跡第32次調査、高月南遺跡第32次調査、大通寺遺跡第19次調査、公共事業では井口遺跡第11次調査について整理調査を実施し、報告書の作成および刊行を行った。

第3章 文化財保護普及事業

第1節 先人顕彰事業

長浜市の文化財保護・啓発の一環として、先人顕彰等を行う団体について激励等の意味合いを持って賞賜金を交付するものとし、市民の文化財保護意識の向上を図ることを目的とする。

対象は、有形・無形・民俗・史跡名勝として認められる文化財の保護、または先人を顕彰する事業を継続的に行う団体で、本年度は、以下の18団体に対し支援を行った。

- ・浅井家顕彰会・姉川合戦史蹟保存会・姉川古戦場古蹟保存会・石田三成公事蹟顕彰会
- ・瓜生薬師如来保存会・近江孤篷庵小堀遠州公史跡保存会・太田大日如来保存会
- ・木尾大田寺薬師如来保存会・国友一貫斎公顕彰会・小堀遠州公顕彰会・実宰院史蹟保存会
- ・大吉寺史跡保存会・醍醐遺跡保存会・醍醐寺史跡保存会
- ・当目太鼓踊り保存会・南郷条里立石聖観音保存会・東主計太鼓踊り保存会・三上藤川顕彰会

第2節 文化財防火デー

平成23年度 第58回文化財防火デー

1 防火訓練

実施日 平成24年1月21日（土） 【長浜地区】
平成24年1月22日（日） 【余呉・浅井地区】

対象文化財名称 (長浜地区) 長浜八幡宮
(余呉地区) 子安地藏堂
(浅井地区) 孤篷庵



防火訓練（孤篷庵）

2 防火査察

実施日 平成24年1月16日（月）

対象文化財名称 (西浅井地区) 辻家住宅・塩津神社
(木之本地区) 西徳寺

実施日 平成24年1月17日（火）

対象文化財名称 (木之本地区) 与志漏神社・鶏足寺

実施日 平成24年1月18日（水）

対象文化財名称 (余呉地区) 全長寺・洞寿院

実施日 平成24年1月19日（木）

対象文化財名称 (木之本区) 光琳寺・杉野中薬師堂

実施日 平成23年1月24日（火）

対象文化財名称 (高月地区) 日吉神社（唐川）・日吉神社（井口）

(びわ地区) 新居神社・本誓寺

(虎姫地区) 玉泉寺・大井観音堂・常善寺・五村別院・宮部薬師堂・宮部花火の陣屋

実 施 日 平成 23 年 1 月 25 日 (水)

対象文化財名称 (長浜地区) 大通寺・知善院

(びわ地区) 千手院・来現寺・川道地藏堂

(湖北地区) 岡本神社・常楽寺・田中神社・常德寺・小谷寺・和泉神社・日前神社

実 施 日 平成 23 年 1 月 27 日 (金)

対象文化財名称 (長浜地区) 神照寺・旧長浜駅舎・長浜鉄道文化館

実 施 日 平成 23 年 1 月 28 日 (土)

対象文化財名称 (長浜地区) 多田幸寺

(浅井地区) 日吉神社・大田寺

第3節 文化財講演会・教室

1 文化財教室ほか

当センターでは、市民の知的好奇心を満たし、地域文化財への関心を深め、立地を活かしたテーマに基づき年数回、文化財専門職員と学識経験者を講師として講座を開催している。今年度は、戦国時代をテーマに「文化財教室」・「戦国歴史講座」の2講座を実施した。

文化財教室 回数2回、場所：長浜公民館ほか、参加者12人

戦国歴史講座 回数2回、場所：余呉文化ホール研修室、参加者13人



文化財教室



戦国歴史講座

2 文化財講演会

文化財保護センターでは、市民の方々が文化財に親しみ、理解を深めていただくことを目的として、毎年講演会を開催している。

平成23年度は、史跡古保利古墳群とその周辺の遺跡を主題として11月26日（土）に講演会とともに現地見学会を行った。講演会は高月町西野コミュニティセンターにて開催した。講師には石野博信氏（兵庫県立考古博物館館長および香芝市二上山博物館館長）をお迎えして、『邪馬台国時代の古保利古墳群と大和・纏向』という演題でご講演いただいた。



講演会の様子

石野氏は、前記のように現在は2つの博物館の館長である。兵庫県教育委員会技師を皮切りに奈良県立橿原考古学研究所副所長、徳島文理大学教授などを歴任され、文化財保護行政（保護・普及）および埋蔵文化財（遺跡）の調査・研究における業績は枚挙にいとまがない。編著も同様であり、加えて後進の指導・育成に尽力されている。また、古保利古墳群をはじめとして、湖北地域にも度々足を運ばれており、その都度指導・助言していただいている。

講演会では、魏志倭人伝（通称）など中国史書に記載されている邪馬台国とその時代、主として3世紀前半の情勢について幅広い視野で解説、説明された。そして、初期ヤマト政権の中心地と推定されている纏向遺跡群（奈良県桜井市・周辺に築造された箸中山古墳をはじめとするおおやまと古墳群などを

含む)と古保利古墳群とその周辺の古墳との関わりなどについてわかりやすく講話された。聴講された方は46名であり、地元の方が多く、関心も高く、講演後の質問も活発であった。

また、講演会の前に史跡古保利古墳群の見学会を行った。平成15年8月27日に国史跡となった古保利古墳群の小松古墳(古保利B-6号墳)などを担当者が案内、説明した。午前中にもかかわらず、20名の方が参加された。なお、講演会・現地説明会の開催には西野自治会など地元有志の方々の甚大なご協力・尽力があったことを記しておく。



講演会の様子

第4節 出張講座(出前講座)

文化財保護啓発事業として、地域や学校、団体等の要望に応じ文化財保護センターの専門職員を講師として派遣した。派遣回数は42回で、延べ2,751人が参加された。

派遣要請の機関は、学校関係5回、公民館事業12回、行政関係8回、歴史愛好団体2回、自治会関係8回、福祉関係1回、研究会関係3回、その他3回であった。

講座の内容は、講演16回、現地研修(現地見学)11回、体験学習(教室)11回、展示解説1回、その他講義と現地研修などが3回であった。

特に、体験学習関係と現地研修は合計22回と多く、全体の52%を占めている。

また、講演会も16回と多くあった。

現地研修・体験学習では小学生から大人までと参加の年齢層が広く、なかでも勾玉づくり教室は子どもだけでなく高齢者にも好評であった。



勾玉づくり教室

講座（講演会・出張講座等）一覧表

月日	時間	演題	内容	講師	団体名	場所	人数
4月12日	14:00～15:00	塩津港遺跡現地説明	現地研修	森口訓男	レイカディア大学OB会	西浅井町塩津	15人
5月10日	9:30～12:20	地域歴史を学ぶ	現地研修	山崎清和	速水小学校6年	葛籠尾崎湖底遺跡資料館他	50人
5月14日	10:00～12:00	横山城について	講演	森口訓男	北郷里老人クラブ連合会	郷里荘	98人
5月21日	8:40～16:00	「近江水の宝」普及事業	現地研修	黒坂秀樹 山崎清和	滋賀県教育委員会	古保利古墳群・山本山城跡他	30人
6月11日	8:30～16:00	「ふるさとの山を歩こう活動Ⅰ」	現地研修	黒坂秀樹 山崎清和 尾崎好則	朝日小学校・PTA・学校協議会	古保利古墳群・山本山城跡・賤ヶ岳	250人
6月16日	9:30～12:10	6年生高月地区集合学習	講演	沢村治郎	高月小学校6年	高月地区の古墳群・埋蔵物ほか	114人
6月18日	13:00～15:30	「大地の遺産活用事業」	現地研修	森口訓男 山崎清和	滋賀県教育委員会	長浜城・城下町ほか	50人
6月19日	19:30～20:30	雲雀山古墳群について	講演	黒坂秀樹	山の前自治会	山の前自治会館	30人
6月21日	13:30～15:30	6年生社会科校外学習	現地見学	黒坂秀樹	富永小学校	姫塚古墳・松尾宮山古墳ほか	25人
7月12日	9:30～11:30	～余呉の仏たち～ 「変わることなく続く観音信仰」	講演	秀平文忠	余呉支所地域振興課	余呉文化ホール2階 研修室	22人
7月18日	11:00～17:00	葛籠尾崎湖底遺跡資料館講演	講演	山崎清和	長浜市湖北町尾上自治会	長浜市湖北町尾上公民館	150人
7月22日	15:00～16:30	湖北地域における戦国時代の歴史	講演	山崎清和	東浅井商工会連絡協議会	びわ商工会館	13人
7月23日	14:00～15:00	湖北学講座「横山古墳群と横山城・秀吉の台頭」	講演	森口訓男	長浜城歴史博物館	長浜城歴史博物館地階研修室	50人
7月26日	9:30～11:30	火起こし体験について	教室	山崎清和 尾崎好則	六荘地区地域づくり協議会	六荘公民館	40人
8月3日	9:30～11:30	湖北の仏たち・浅井地区の仏像	講演	秀平文忠	下草野公民館	下草野公民館	21人
8月5日	9:30～11:30	湖北の仏たち・浅井地区の仏像	講演	秀平文忠	田根公民館	田根公民館	12人
8月6日	16:00～18:00	火起こし体験について	教室	尾崎好則 百々正志	三川町まちづくり委員会	三川町公会堂前	30人
8月9日	9:30～11:30	勾玉づくり教室	教室	尾崎好則	六荘地区地域づくり協議会	六荘公民館	45人
8月10日	9:30～11:30	湖北の仏たち・浅井地区の仏像	講演	秀平文忠	上草野公民館	上草野公民館	28人
8月27日	13:30～15:30	湖北の仏たち・千手院千手観音立像をめぐって	講演	秀平文忠	(財)守山野洲市民交流プラザ	ライズヴィル都賀山	57人
8月27日	10:45～16:30	賤ヶ岳合戦と城郭	講義 現地見学	尾崎好則	滋賀県教育委員会	きのもと交遊館、賤ヶ岳城跡他	120人
8月31日	9:30～11:30	湖北の仏たち・浅井地区の仏像	講演	秀平文忠	七尾公民館	七尾公民館	19人
9月6日	10:00～14:00	歴史街道見聞録	現地見学	秀平文忠	山東公民館	北国街道・徳勝寺ほか	25人
9月23日	9:50～12:30	大依山陣跡ハイキング	現地見学	黒坂秀樹	大依山陣の会	大依山（乗倉古墳群ほか）	90人
9月24日	10:30～16:00	小谷城攻防戦と城郭	講義 現地見学	尾崎好則他	滋賀県教育委員会	伊部公民館、虎御前山城跡他	120人
9月28日	9:00～12:00	～余呉の仏たち～ 「変わることなく続く観音信仰」	現地見学	秀平文忠	余呉支所地域振興課	上丹生薬師堂観音他	25人
10月5日	9:30～11:30	勾玉づくり教室	教室	尾崎好則	下草野公民館	下草野公民館	50人
10月12日	10:00～12:00	勾玉づくり教室	教室	尾崎好則	上草野公民館	上草野公民館	50人
10月15日	10:00～11:30	勾玉づくり教室	教室	尾崎好則	びわ公民館	びわ公民館	30人
10月15日	15:30～18:30	「滋賀・長浜における曳山保存修理」	講演	秀平文忠	全国山鉦屋台保存連合会	伊賀市・ヒルホテルサンピア伊賀	250人
10月18日	10:00～14:00	歴史街道見聞録	現地見学	尾崎好則	山東公民館	北国街道・木之本宿ほか	50人
10月23日	10:00～12:00	勾玉づくり教室	教室	尾崎好則	神照まちづくり協議会	養蚕の館	30人
10月25日	13:30～15:00	長浜の歴史（古墳の話）	教室	牛谷好伸	長浜小学校6年生	長浜小学校	35人
10月27日	10:00～14:00	滋賀の文化財講座第6回秘仏開帳・長浜市千手院千手観音立像をめぐって	講演	秀平文忠	滋賀県教育委員会	コラボしが21	65人
11月4日	10:00～12:00	勾玉づくり教室	教室	尾崎好則	七尾公民館	七尾公民館	50人
11月11日	9:30～11:30	勾玉づくり教室	教室	尾崎好則	田根公民館	田根公民館	50人
11月13日	13:00～14:30	湖北の仏たち・高月町の仏像を中心に	講演	秀平文忠	東阿閉自治会	東阿閉公民館	36人
11月19～25日	9:00～16:30	菅浦の思い出 今・昔 写真展	展示解説		菅浦自治会、文化財保護センター	菅浦郷土史料館	387人
11月27日	10:00～12:00	三世代交流六荘地区歴史探訪	現地見学	秀平文忠 牛谷好伸	六荘地区地域づくり協議会	大戎亥遺跡・下坂氏館跡ほか	36人
12月6日	13:30～14:30	文化財建造物の保存修理	教室	二宮義信	長浜城歴史博物館友の会	長浜城歴史博物館地下研修室	15人
1月28日	13:30～16:30	姉川合戦と城郭	講義 現地見学	牛谷好伸	滋賀県教育委員会	石田会館、横山城跡他	48人
2月16日	13:30～15:00	湖北の仏たち・千手院千手観音立像をめぐって	講演	秀平文忠	高月史談会	高月中央公民館 第2研修室	40人
文化財教室							
8月26日	19:30～21:00	浅井三代と姉川合戦	教室	太田浩司		長浜公民館	5人
11月23日	19:30～21:00	戦国合戦と武具	教室	森岡栄一		養蚕の館	7人
戦国歴史講座							
11月20日	19:30～21:00	小谷谷めと虎御前山砦	教室	福井智英		余呉文化ホール研修室	3人
12月23日	19:30～21:00	戦国時代と北近江の山城	教室	森口訓男		余呉文化ホール研修室	10人
長浜市文化財講演会							
11月26日	13:45～15:30	邪馬台国時代の古保利古墳群	講演	石野博信		西野コミュニティーセンター	46人

第5節 埋蔵文化財展示事業

文化財保護センター常設展示

展示場所：長浜市文化財保護センター展示室

前年度から引き続き、市内から出土した資料と立体展示台で長浜から出土した遺物をわかりやすく展示。また、職員による説明や勾玉作り、火おこし体験、土器や石器に触れる体験学習もできる。



常設展示室

第6節 見学会

1 大通寺台所門 保存修理現場見学会

今回の現場見学会は文化財保護強調月間事業の一環として、市民の方々に向けて現場の公開を行ったもので、11月6日(日)に開催した。当日はあいにくの雨が降ったりやんだりの天候ではあったが、計50人の参加があった。見学会では、現在までの修理内容の説明や発掘調査結果の報告を行い、さらに普段見ることができない小屋組の組立状況を足場上から間近に見学し、修理事業を体感していただいた。この他に新指定文化財の紹介として、平成23年3月に市指定となった大通寺山門の築地塀(文政9年[1826]建築)と板図(文化年間[1804~18]制作)の見学も合わせて行った。



発掘調査報告



足場上での説明

2 大通寺台所門 完成見学会

平成22年10月から2ケ年度(計17ヶ月)の歳月を費やして、保存修理を進めてきた大通寺台所門の完成にともない、3月17日(土)に一般の完成見学会を開催した。当日はあいにくの雨模様の天気であったものの、計32人の参加があった。見学会は太鼓楼(平成21年度に修理完了)内部において、修理経過の写真や発見事項について説明し、続いて完成した台所門の見学を行った。



完成見学



修理経過等の説明

第7節 記者発表

- ・大通寺台所門保存修理見学会

開催日 平成 23 年 11 月 6 日（日）
会場 大通寺台所門
担当職員 二宮義信
参加者 50 人

- ・平成 23 年度長浜市文化財講演会 ― 邪馬台国時代の古保利古墳群 ―

開催日 平成 23 年 11 月 26 日（土）
会場 西野コミュニティセンター
担当職員 黒坂秀樹
参加者 50 人

- ・大通寺台所門完成見学会

開催日 平成 24 年 3 月 17 日（土）
会場 大通寺台所門
担当職員 二宮義信
参加者 32 人

第8節 刊行図書一覧

- ・「平成 22 年度 長浜市文化財保護年報」
- ・長浜市埋蔵文化財資料集 第 133 集 「平成 22 年度 小規模開発関連発掘調査報告書」
- ・長浜市埋蔵文化財資料集 第 134 集 「井口遺跡第 11 次調査報告書」
- ・長浜市埋蔵文化財資料集 第 135 集 「高月南遺跡第 32 次調査報告書」
- ・長浜市埋蔵文化財資料集 第 136 集 「十里町遺跡 32 次調査報告書」
- ・長浜市埋蔵文化財資料集 第 137 集 「大通寺遺跡 19 次調査報告書」
- ・四ヶ字共有文書調査報告書

第9節 収蔵文化財の活用

1 閲 覧

依 頼 者 八木宏明（滋賀県立大学）
目 的 卒業論文執筆
資 料 高月南遺跡出土製塩土器
日 時 平成 23 年 10 月 27 日

依 頼 者 宮成良佐（立命館大学）
目 的 弥生文化の伝播と定着の研究・修士論文執筆準備
資 料 川崎遺跡第 8 次調査出土遺物
日 時 平成 23 年 9 月 27 日～30 日

依 頼 者 宮成良佐（立命館大学）
目 的 弥生文化の伝播と定着の研究・修士論文執筆準備
資 料 川崎遺跡第 21 次調査出土遺物
日 時 平成 23 年 10 月～11 月

依 頼 者 宮成良佐（立命館大学）
目 的 弥生文化の伝播と定着の研究・修士論文執筆準備
資 料 川崎遺跡第 5・6・8・9 次調査出土遺物
日 時 平成 23 年 11 月～12 月

依 頼 者 宮成良佐（立命館大学）
目 的 弥生文化の伝播と定着の研究・修士論文執筆準備
資 料 川崎遺跡第 9 次調査出土遺物
日 時 平成 24 年 1 月～2 月

2 貸 出

依 頼 者 長浜市長浜城歴史博物館
目 的 特別企画「浅井三代と三姉妹」
第 5 回テーマ展「謎の秀吉子息たち～三人の秀勝」に関わる展示
資 料 伝羽柴秀勝墓調査写真 1 点および出土遺物写真 2 点
期 間 平成 23 年 5 月 20 日～平成 23 年 7 月 29 日

依 頼 者 滋賀県立安土城考古博物館
目 的 夏休み企画展「時空を駆ける馬たち」に関わる展示
資 料 十里町遺跡出土 絵馬 1 点
期 間 平成 23 年 6 月 24 日～平成 23 年 11 月 4 日

依 頼 者 長浜市長浜城歴史博物館
目 的 企画展「湖北の土豪 一下坂氏一」に関わる展示
資 料 史跡下坂氏館跡出土遺物 23 点・下坂中町遺跡出土遺物 4 点
大東遺跡（大東城）出土遺物 9 点
期 間 平成 23 年 9 月 27 日～平成 23 年 11 月 22 日

依 頼 者 五先賢の館
目 的 小堀遠州企画展に関わる展示
資 料 小堀氏館遺跡出土遺物 5 点
期 間 平成 23 年 11 月 1 日～平成 23 年 12 月 20 日

依 頼 者	米原市教育委員会
目 的	米原市伊吹山資料館 第 92 回企画展「模型で再現！ 京極氏の山城」に関わる展示
資 料	横山城跡出土遺物 6 点
期 間	平成 23 年 11 月 20 日～平成 23 年 12 月 25 日
依 頼 者	長浜市長浜城歴史博物館
目 的	特別陳列「湖北の王たち① 一坂田郡一」に関わる展示
資 料	大戊亥・鴨田遺跡第 1 次調査出土遺物 12 点、大戊亥・鴨田遺跡第 2 次調査出土遺物 2 点、大戊亥・鴨田遺跡第 4 次調査出土遺物 4 点、鴨田遺跡第 7 次調査出土遺物 1 点、大塚遺跡第 11 次調査出土遺物 1 点、墓立遺跡第 3 次調査出土遺物 1 点、柿田古墳第 1 次調査出土遺物 2 点
期 間	平成 24 年 1 月 28 日～平成 24 年 3 月 22 日
依 頼 者	滋賀県立安土城考古博物館
目 的	企画展「信長の水城」に関わる展示
資 料	長浜城遺跡出土瓦類 3 点
期 間	平成 24 年 2 月 29 日～平成 24 年 7 月 6 日
依 頼 者	滋賀県立安土城考古博物館
目 的	企画展「発掘された地震の痕跡」に関わる展示
資 料	長浜町遺跡出土遺物 2 点
期 間	平成 24 年 2 月 29 日～平成 24 年 7 月 6 日

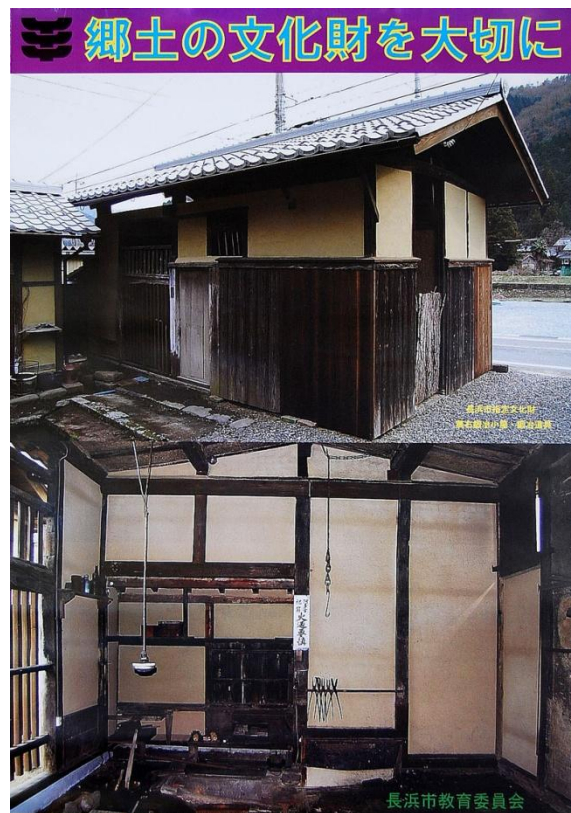
3 掲 載

依 頼 者	小谷城戦国歴史資料館 管理者小谷城址保勝会
掲載目的	小谷城戦国歴史資料館入館者のためのパンフレット「浅井三代と小谷城」
掲載資料	史跡小谷城出土遺物写真 5 点
刊行予定	平成 23 年 9 月中旬
依 頼 者	滋賀県教育委員会文化財保護課
掲載目的	埋蔵文化財活用ブックレット『小谷城跡をめぐる城々』
掲載資料	史跡小谷城跡調査写真 2 点および丁野山城跡航空写真 1 点
刊行予定	平成 23 年度中
依 頼 者	川畑純（奈良文化財研究所）
掲載目的	奈良文化財研究所創立 60 周年記念論集『文化財論叢Ⅳ』 掲載論文「古墳時代の矢の構造」
掲載資料	史跡古保利古墳群小松古墳（古保利 B－6 号墳）出土鉄鏃実測図 1 点
刊行予定	平成 23 年度中

依 頼 者 (財) 滋賀県文化財保護協会
掲載目的 『シリーズ近江の文化財 005 古代近江の渡来文化』
掲載資料 鴨田遺跡出土五銖銭 1 点、華寺遺跡出土軒平瓦 2 点
刊行予定 平成 23 年度中

第 10 節 文化財保護普及啓発ポスター

文化財保護普及事業の一環として、毎年、市内に所在する文化財を題材に保護普及啓発ポスターを制作している。今年度は、平成 22 年度に保存修理を実施した長浜市指定有形民俗文化財・萬右鍛冶小屋を題材とした。ポスターは 200 部作成し、文化財所有者ならびに各関係機関へ配布した。



文化財保護啓発ポスター

第 11 節 子ども考古学教室「土器・まがたまづくりにチャレンジ！！」

開催日 平成 23 年 7 月 28 日 (木) 土器作り
平成 23 年 8 月 18 日 (木) 土器焼き・まがたま作り

会 場 長浜市余呉文化ホール

参加者 23 名

内 容

子ども考古学教室は文化財保護センターが主催する市内小学生を対象とした体験型事業で、参加者は土器作りや、遺跡散策など体験を通して歴史を学ぶことを目的としている。今回は、土器の作成と土器焼き（まがたま作りを含む）を 2 回に分けて実施した。

第 1 回目は職員の指導の下、手作業による土器作りを実施。実物の土器を用いて土器の説明をして理解を深め、その後土器の作成を実施した。

第 2 回目は、前回作成し乾燥させた土器を、野焼き（屋外で薪などを燃やす手法）で焼いた。



子ども考古学教室

土器が焼き上がるまでの間、参加した子どもたちは、滑石を材料とした、まがたま作りを職員の指導の下、体験した。



土器焼き

第12節 家族甲冑教室

長浜市は、戦国大名浅井長政の居城であった史跡小谷城跡やその家臣の居館の史跡北近江城館群三田村氏館跡、下坂氏館跡、羽柴秀吉の居城など多くの城郭・城館跡が、また姉川の合戦、賤ヶ岳の合戦など歴史に残る古戦場が存在する。

戦国時代の歴史を学び体感すると共に、製作した甲冑をまちづくりや地域づくりに活用していただくため、甲冑製作教室を開催した。

厚手のボール紙やひも・布など、どなたでも扱える材料を使用して製作をした。

製作工程は、ほとんど手作業で、型紙による厚紙、布による補強、着色、威紐用の穴空け、威紐通し等複雑である。

製作された甲冑を地域の事業に活用されることが期待される。

1. 製作期間 平成23年8月2日～12月20日
2. 教室回数 10回
3. 場所 文化財保護センター、北郷里公民館
4. 材料 厚紙、木工用ボンド他別紙
5. 製作甲冑 仏胴具足及び日根野兜
6. 参加人数 1名



家族甲冑教室

第 13 節 広報ながはま ながはまの文化財掲載

市内には、国・県・市が指定した文化財がキラ星のごとく光り耀いている。このコーナーでは、430件ある文化財の中から代表的なものを毎月発行の「広報ながはま」にシリーズで紹介している。

また、長浜市ホームページでも掲載している。

広報ながはま 毎月 1 日号掲載「ながはまの文化財」

平成23年	シリーズ	種 別	名 称
4 月 1 日号	1	国史跡	古保利古墳群
5 月 1 日号	2	国史跡	玄蕃尾城 (内中尾山城) 跡
6 月 1 日号	3	市史跡	賤ヶ岳合戦 (東野山城跡・別所 山砦跡)
8 月 1 日号	4	国彫刻	木造千手観音立像 (新指定)
9 月 1 日号	5	市史跡	虎御前山城跡
10月 1 日号	6	国史跡	小谷城跡
11月 1 日号	7	国史跡	北近江城館跡群 下坂氏館跡
12月 1 日号	8	国史跡	北近江城館跡群 三田村氏館跡
平成24年			
1 月 1 日号	9	国宝	神照寺 「金銀透彫華籠」
2 月 1 日号	10	国宝	宝厳寺唐門
3 月 1 日号	11	国宝	都久夫須麻神社本殿



史跡小谷城跡



史跡古保利古墳群

平成 23 年度 長浜市文化財保護年報

滋賀県長浜市教育委員会 文化財保護センター

平成 24 年 8 月

編集：長浜市教育委員会 文化財保護センター

〒526-0845

滋賀県長浜市東上坂町 981 長浜市文化財保護センター

電話 0749-64-0395 Fax 0749-62-6357

印刷：株式会社シバタプロセス印刷